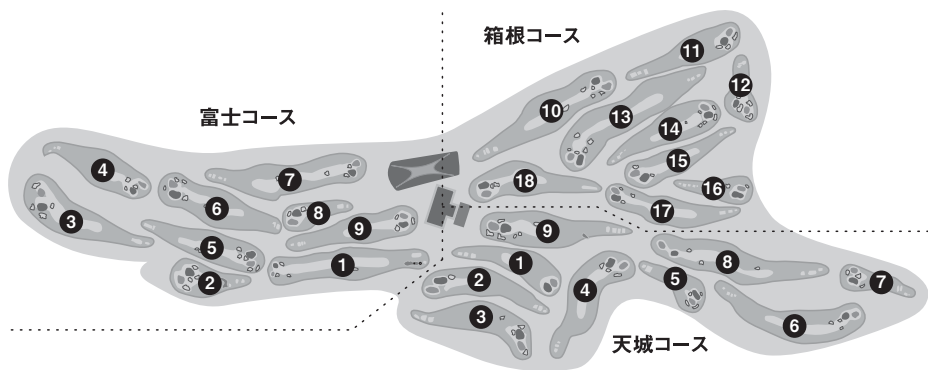




YARDAGE GUIDE

(フロントティー)



※ヤードージ表示はフロントティーから計算しています。
 グリーンまでの距離はすべてエッジ (edge) までとなっています。
 A...Aグリーンまでの距離 B...Bグリーンまでの距離

1 Par5

Fuji Course

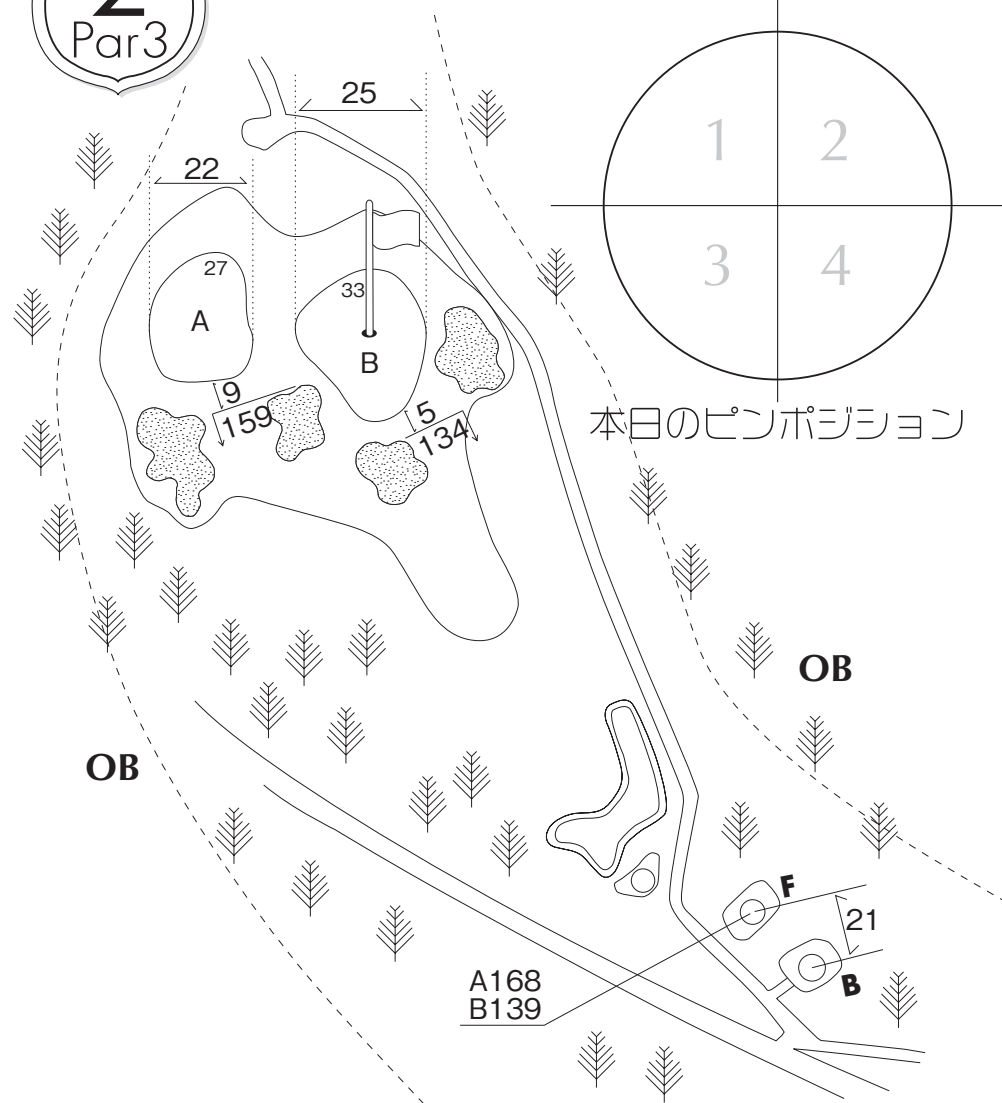
1	2
3	4

本日のピンポジション

ゆったりとした上りのロング。ティーショットは左がOBなので右側から攻めたい。コース右側は隣のホールと隣接しておりノーペナルティー。ティーから203Y地点左サイドにクロスバンカーが配置されており、こちらに入れないのが鉄則。右側にもバンカーはあるがティーショットでは届かないであろう。フェアウエイが広いので、セカンドは豪快にウッドで攻めると良い。グリーン100Y手前から急激にアップヒルとなるので攻め方にも配慮が必要。グリーン付近も上り傾斜がある為、砲台グリーン用に高めのボールを打っていきたい。グリーン後ろからのアプローチはかなりの難易度になる。手前から攻めるのがポイント。



Fuji Course

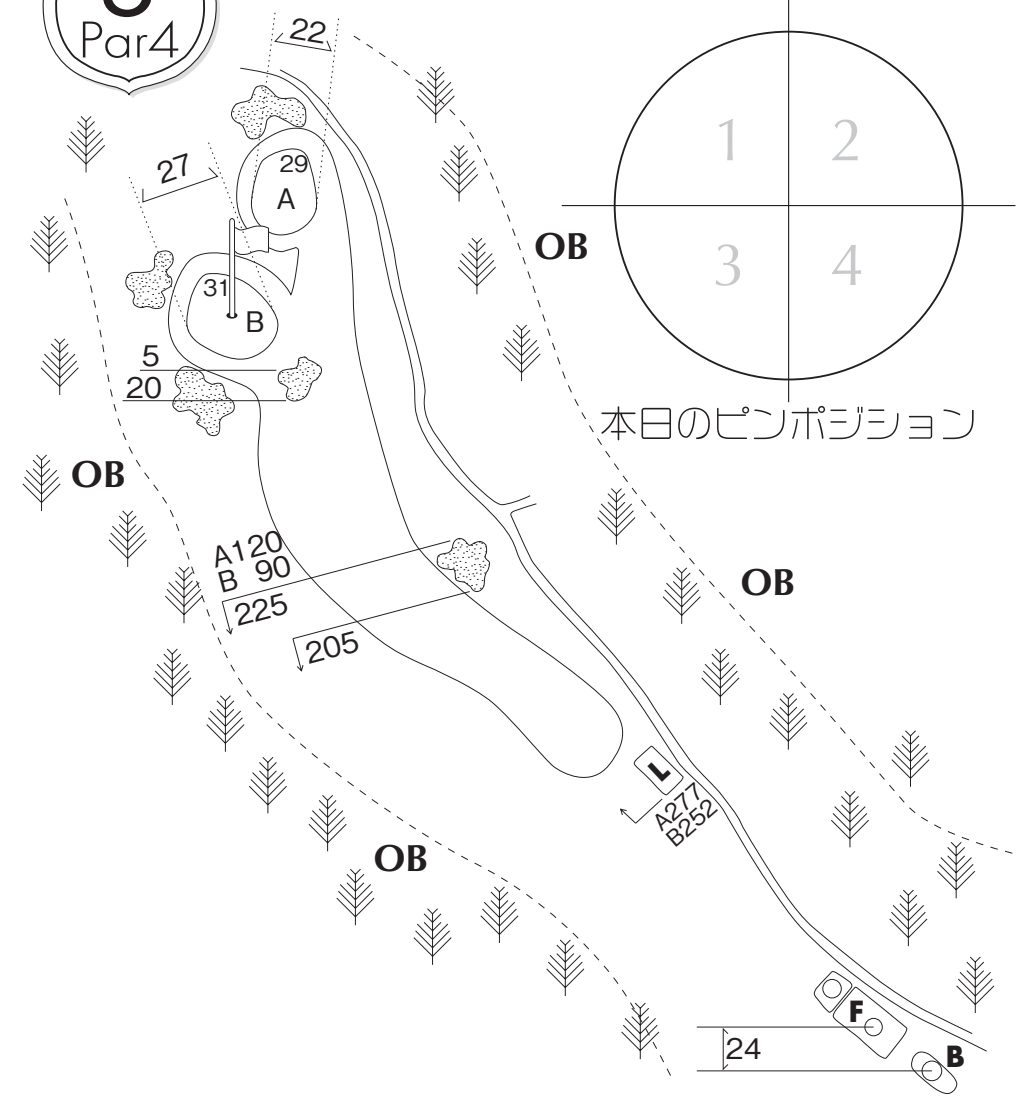


本日のピンポジション

やや距離のあるショート。右側はOBのラインとなり、左側がゆったりとひらけているホール。コースの難易度としてもやや高い。ティーの少し前に池があるが、あまり気にしなくてもよいだろう。グリーンの周りにバンカーが巧みに配置されており、アプローチで傾斜を転がって入ってしまうケースもある。イメージ的には、グリーン奥にオンさせる感じでティーショットは打ちたい。グリーン形状はやや砲台。面積は広めなので、とりあえずセンターにボールを置くのが後々無難となる。グリーン奥は広いアプローチとなっているが、下り傾斜への寄せとなりかなり難しいであろう。



Fuji Course

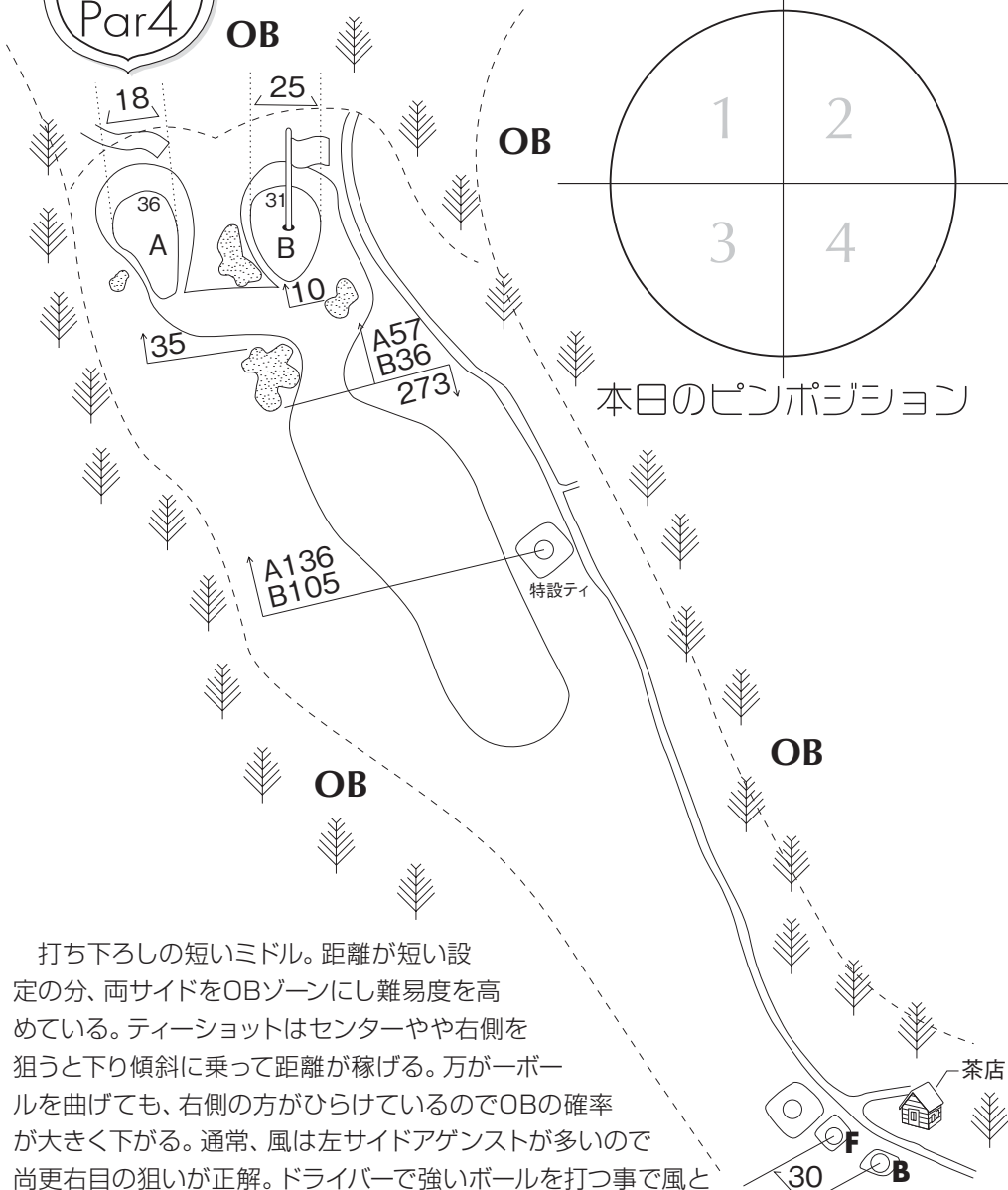


本日のピンポジション

上りのミドル。ティーから見て迫り出している右側林はOBゾーンとなっているので左斜面にボールをぶつけるくらいのイメージで安全に攻めたい。万一右側林に打ち込んだ場合は、ペナルティーか若しくは脱出に大変苦労するだろう。ティーから205Yのクロスバンカーを避けるのが必須。グリーンまでは急な上り傾斜の為、ヤードージよりも10Y多く見た方がよい。グリーン面積は比較的大きく、あまり癖のないつくりとなっている。アプローチは強い打ち上げとなり距離感が難しいので、セカンド・サードで乗せる方が易しいと思われる。



Fuji Course [特設ティ有り]

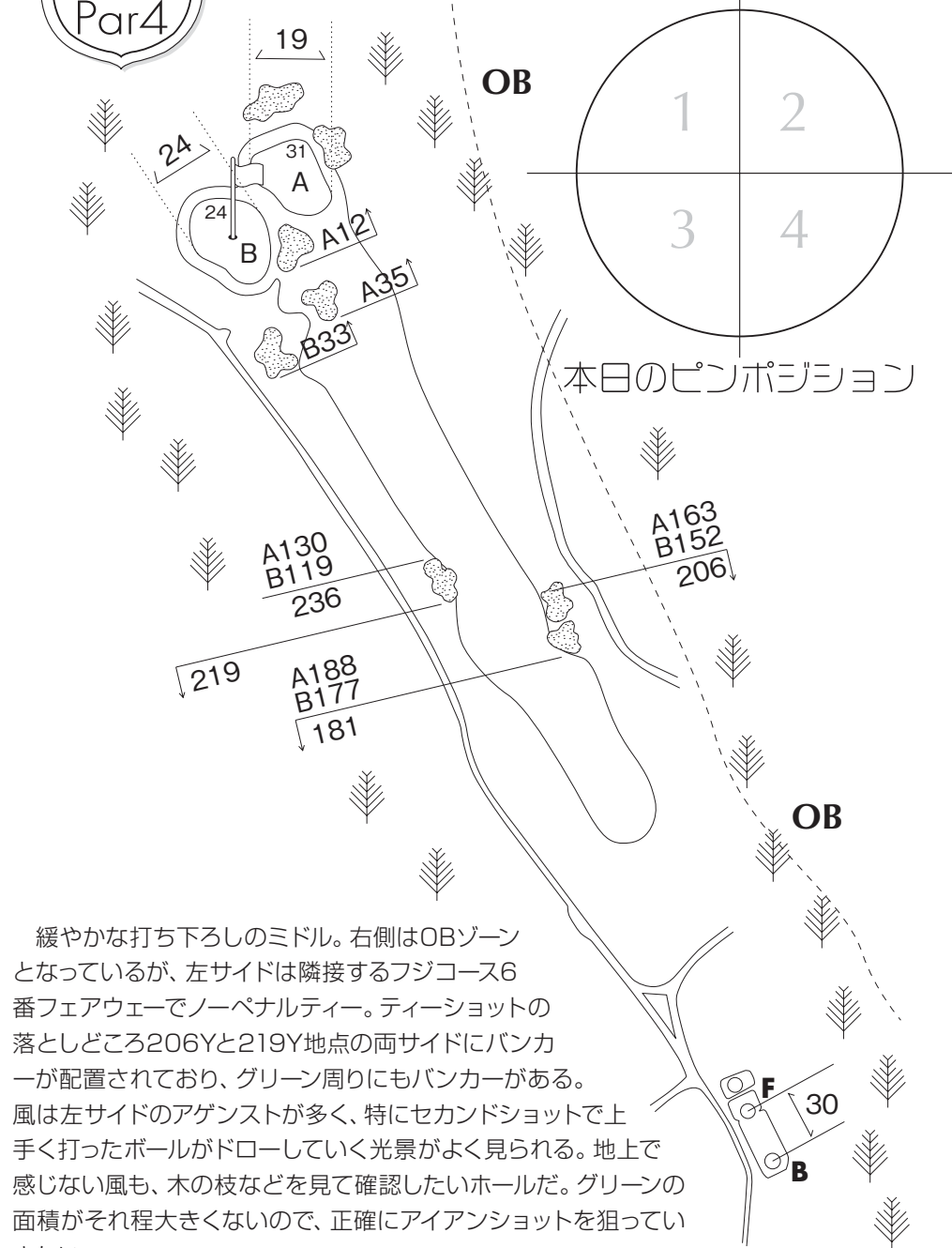


打ち下ろしの短いミドル。距離が短い設定の分、両サイドをOBゾーンにし難易度を高めている。ティーショットはセンターやや右側を狙うと下り傾斜に乗って距離が稼げる。万が一ボールを曲げても、右側の方がひらけているのでOBの確率が大きく下がる。通常、風は左サイドアゲンストが多いので尚更右目の狙いが正解。ドライバーで強いボールを打つ事で風と戦うか、アイアンで堅くレイアップするかをはっきりイメージさせないと悪い結果を生みやすい。グリーン面がやや硬いので、きっちりアイアンショットを打ちたいホール。総じてサービスホールのイメージが強く、男性も女性も果敢にバーディーを狙えるホールといえる。



Fuji Course

グリーン横の停止点より、リモコンが効かなくなっております。カートの発信ボタンにて誘導して下さい。

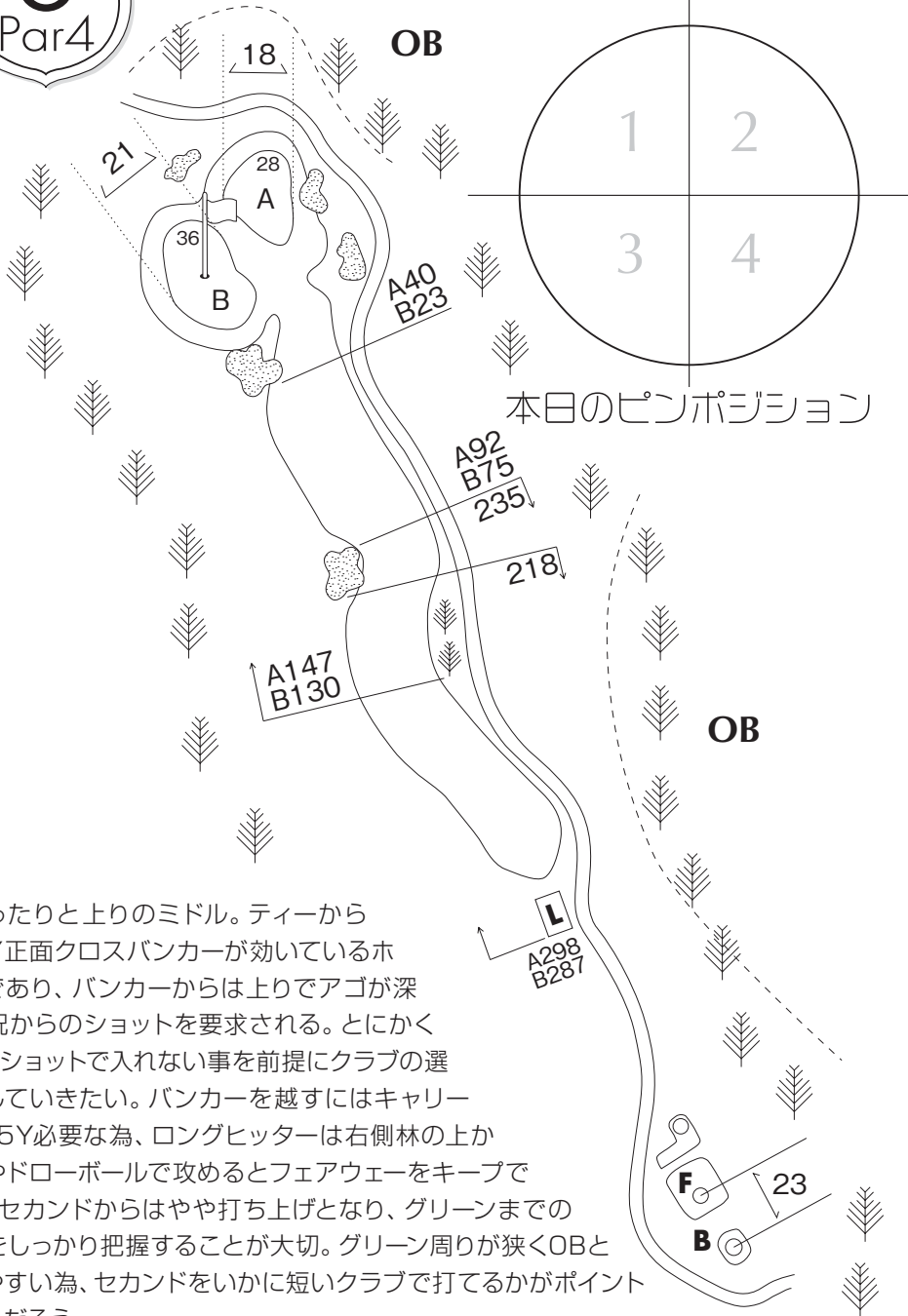


緩やかな打ち下ろしのミドル。右側はOBゾーンとなっているが、左サイドは隣接するフジコース6番フェアウエーでノーペナルティー。ティーショットの落としどころ206Yと219Y地点の両サイドにバンカーが配置されており、グリーン周りにもバンカーがある。風は左サイドのアゲンストが多く、特にセカンドショットで上手く打ったボールがドロローしていく光景がよく見られる。地上で感じない風も、木の枝などを見て確認したいホールだ。グリーン面積がそれ程大きくないので、正確にアイアンショットを狙ってほしい。



Fuji Course

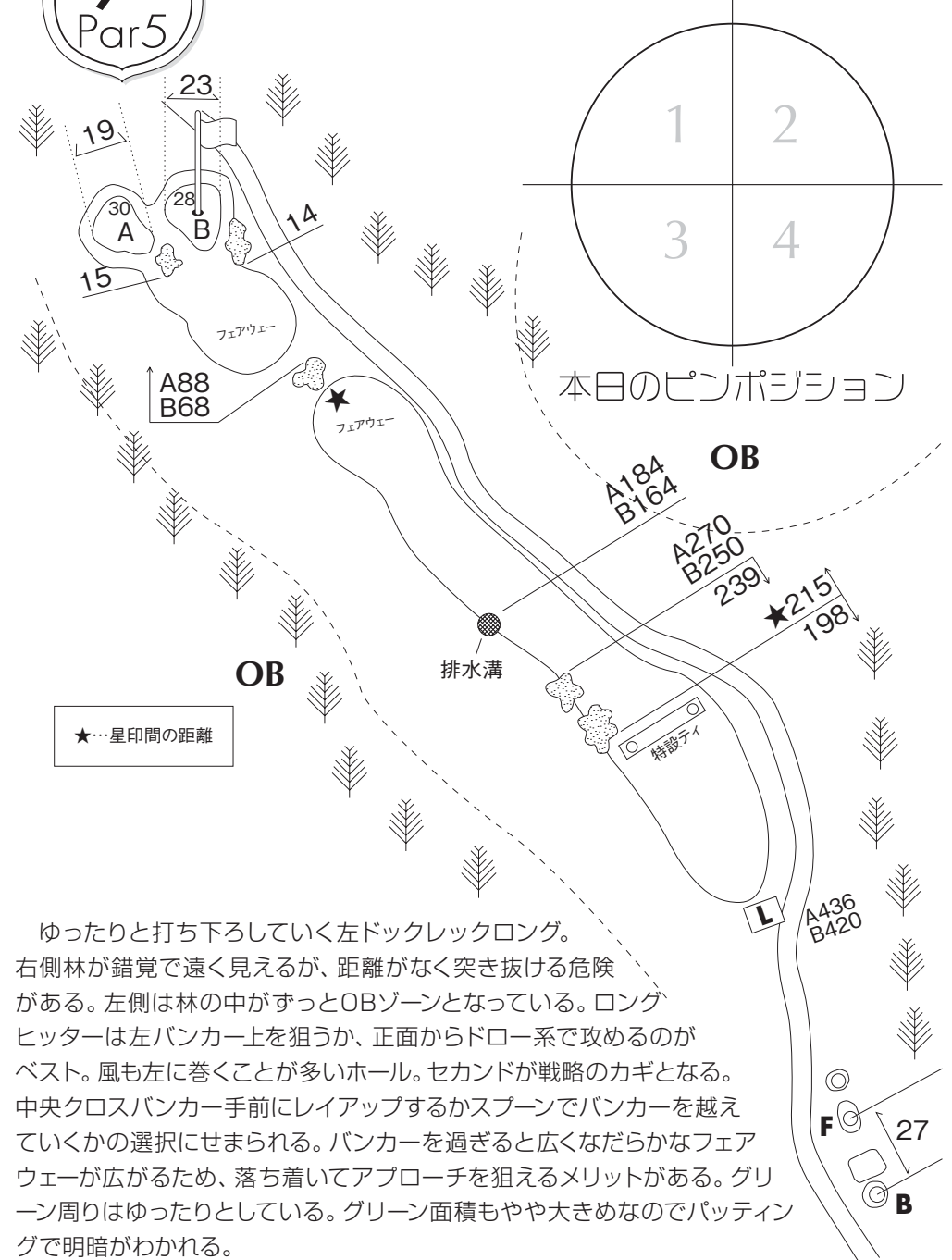
グリーン横の停止点より、リモコンが効かなくなっております。カートの発信ボタンにて誘導して下さい。



ゆったりと上りのミドル。ティーから218Y正面クロスバンカーが効いているホールであり、バンカーからは上りでアゴが深い状況からのショットを要求される。とにかくティーショットで入れない事を前提にクラブの選択をしていきたい。バンカーを越すにはキャリーで235Y必要な為、ロングヒッターは右側林の上からややドロボールで攻めるとフェアウェーをキープできる。セカンドからはやや打ち上げとなり、グリーンまでの距離をしっかり把握することが大切。グリーン周りが狭くOBとなりやすい為、セカンドをいかに短いクラブで打てるかがポイントとなるだろう。



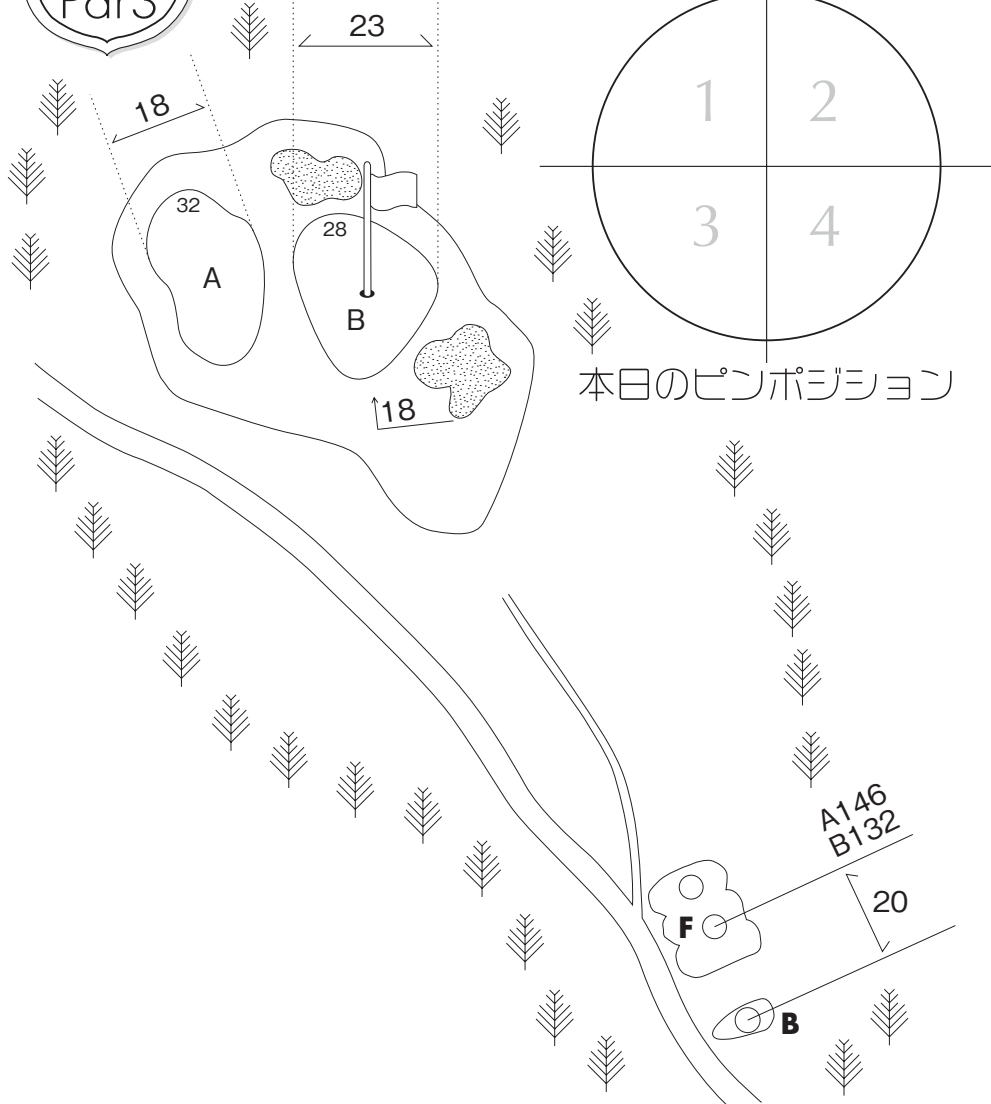
Fuji Course [特設ティはフェアウェー中央]



ゆったりと打ち下ろしていく左ドックレックロング。右側林が錯覚で遠く見えるが、距離がなく突き抜ける危険がある。左側は林の中がずっとOBゾーンとなっている。ロングヒッターは左バンカー上を狙うか、正面からドロ系で攻めるのがベスト。風も左に巻くことが多いホール。セカンドが戦略のカギとなる。中央クロスバンカー手前にレイアップするかスプーンでバンカーを越えていくかの選択にせまられる。バンカーを過ぎると広くなだらかなフェアウェーが広がるため、落ち着いてアプローチを狙えるメリットがある。グリーン周りはゆったりとしている。グリーン面積もやや大きめなのでパッティングで明暗がわかる。



Fuji Course

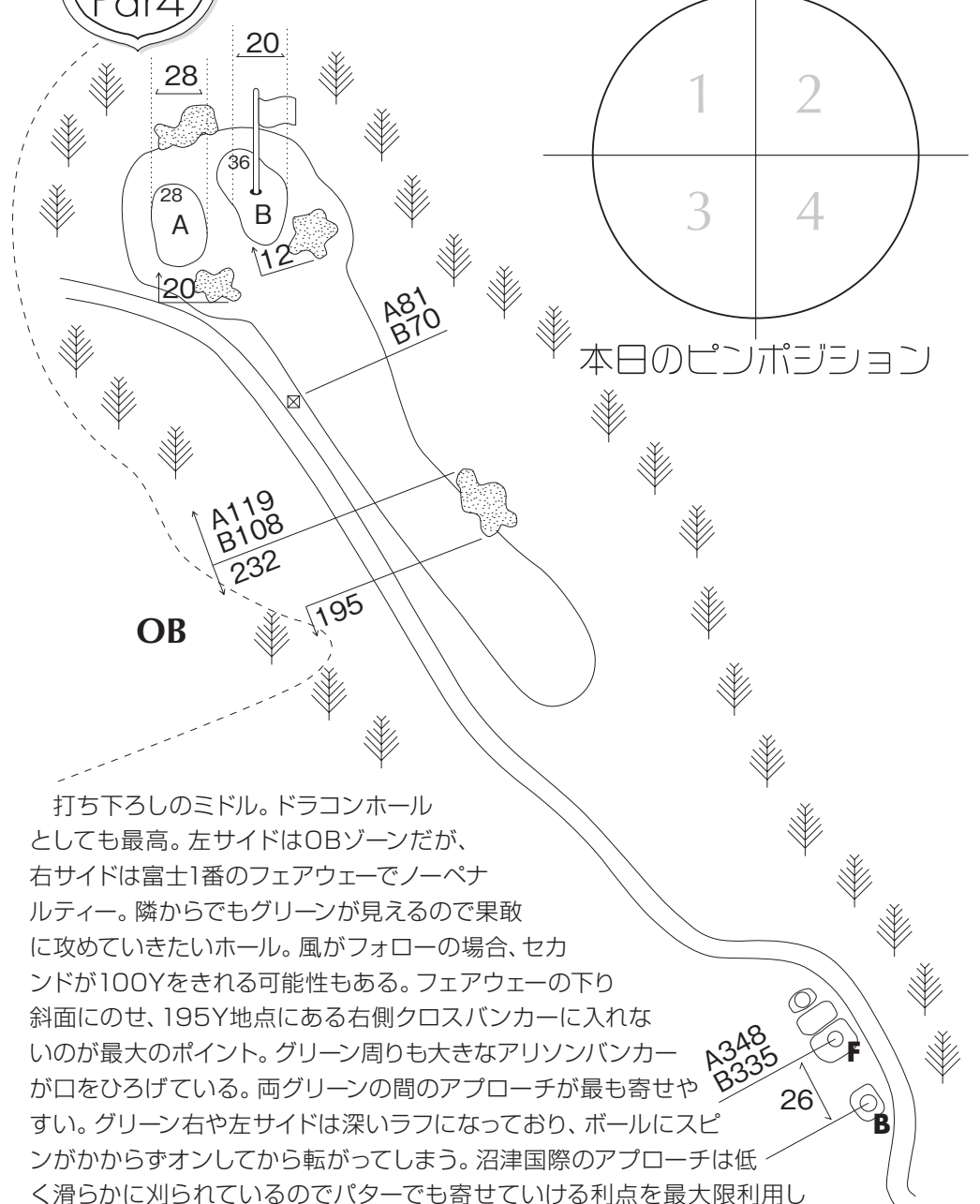


本日のピンポジション

やや上りのショート。グリーン手前アリソンバンカーは身長より高いアゴがある。距離は短めのホールなので、クラブの選択にだけ注意が必要。右側林に打ち込むと、ノーペナルティーだが隣のホールから脱出することになり身長の3倍以上の林を越えてグリーンを狙わなくては行けない。グリーン面が受けているので、ティーグラウンドから見たボールの着地点と実際が違って見える事が多い。ピンが奥に切られているときは積極的に攻めて行きたい。上から下にかけてとてもグリーンが速いので、寄せは手前からのぞみたくなる。



Fuji Course

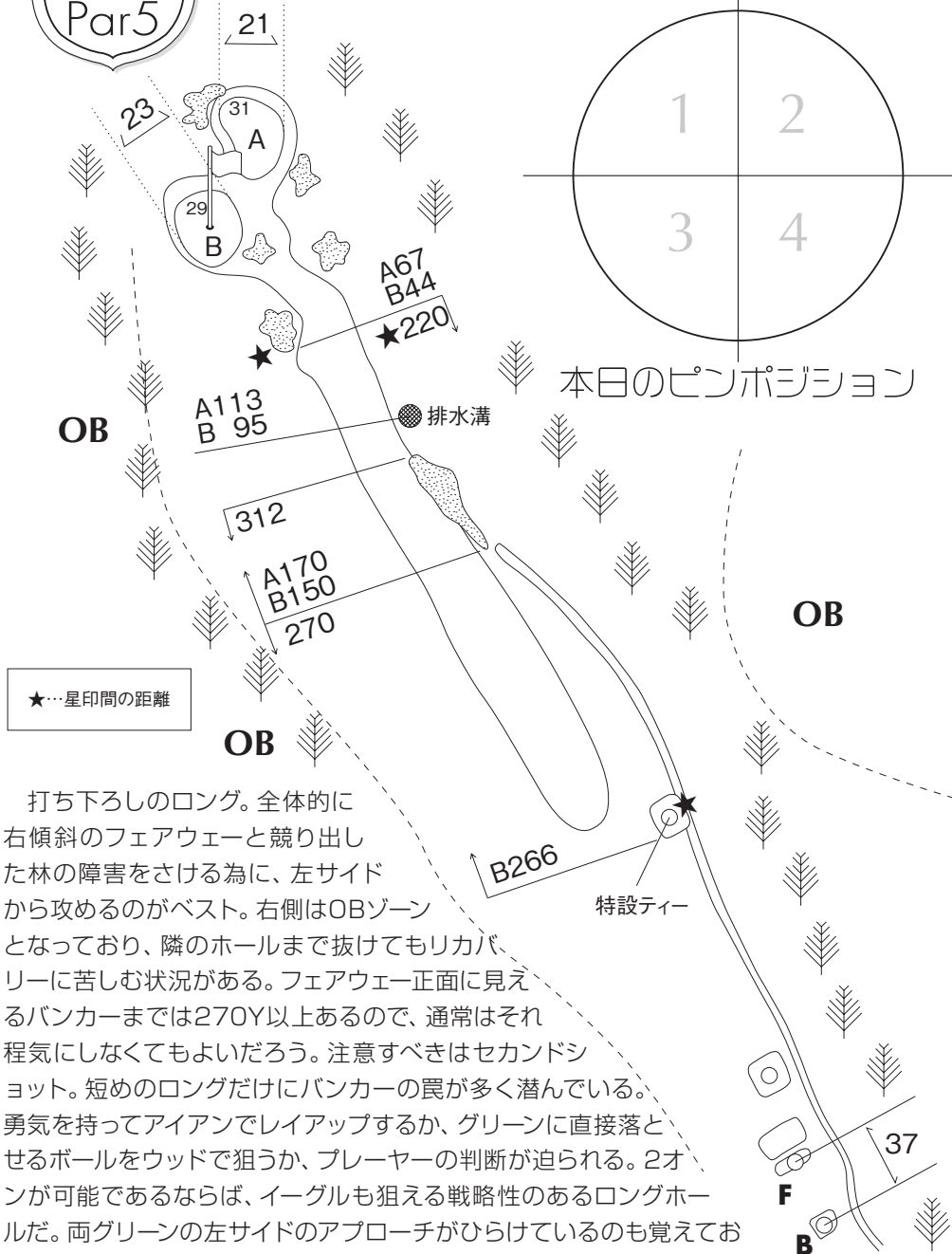


本日のピンポジション

打ち下ろしのミドル。ドラコンホールとしても最高。左サイドはOBゾーンだが、右サイドは富士1番のフェアウェーでノーペナルティー。隣からでもグリーンが見えるので果敢に攻めていきたいホール。風がフォローの場合、セカンドが100Yをきれる可能性もある。フェアウェーの下り斜面にのせ、195Y地点にある右側クロスバンカーに入れないのが最大のポイント。グリーン周りも大きなアリソンバンカーが口をひろげている。両グリーンの間のアプローチが最も寄せやすい。グリーン右や左サイドは深いラフになっており、ボールにスピんがかからずオンしてから転がってしまう。沼津国際のアプローチは低く滑らかに刈られているのでパターでも寄せていける利点を最大限利用したい。



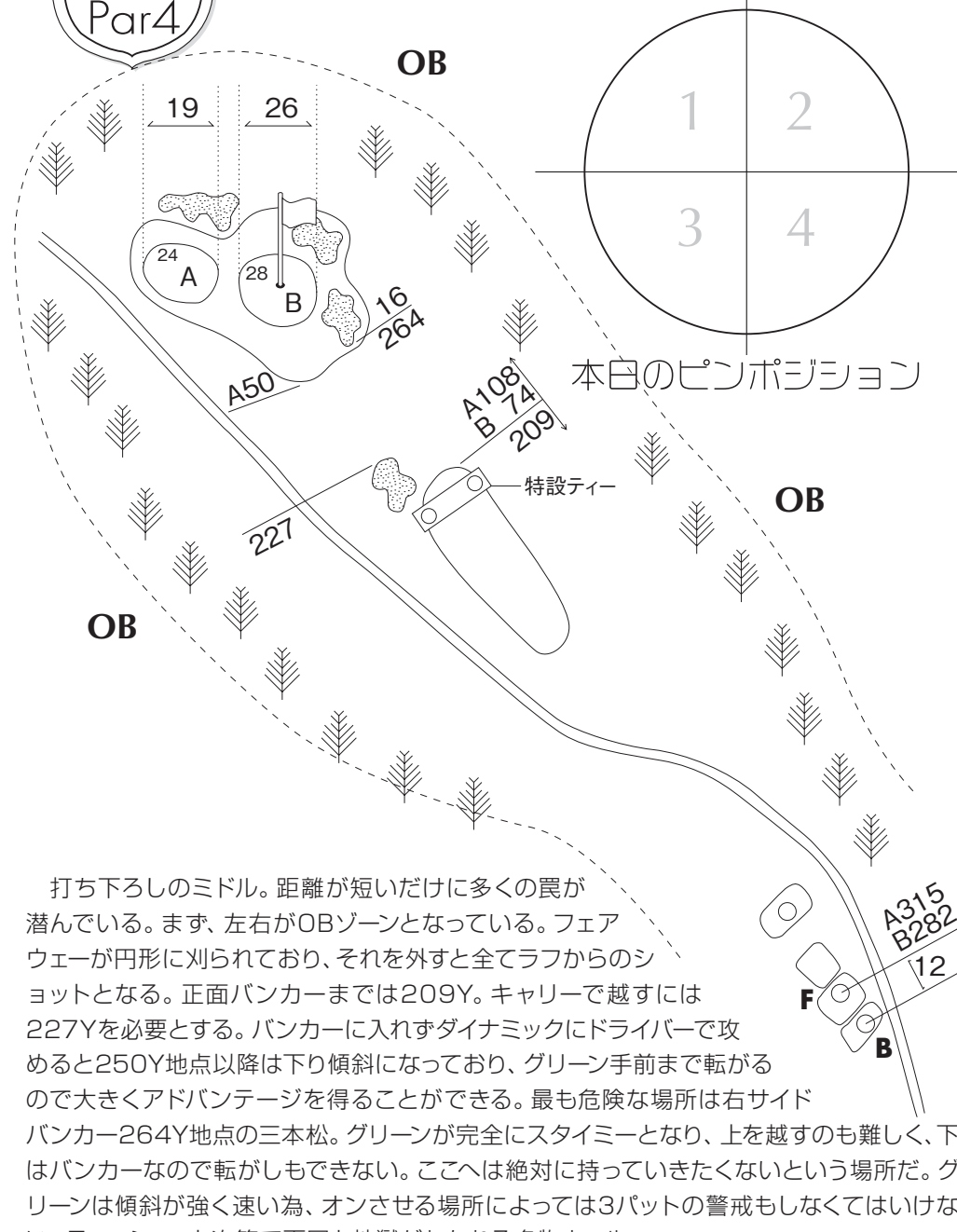
10 Hakone Course [特設ティ有り]



打ち下ろしのロング。全体的に右傾斜のフェアウェイと競り出した木の障害をさける為に、左サイドから攻めるのがベスト。右側はOBゾーンとなっており、隣のホールまで抜けてもリカバリーに苦しむ状況がある。フェアウェイ正面に見えるバンカーまでは270Y以上あるので、通常はそれ程気にしなくてもよいだろう。注意すべきはセカンドショット。短めのロングだけにバンカーの罠が多く潜んでいる。勇気を持ってアイアンでレイアップするか、グリーンに直接落とせるボールをウッドで狙うか、プレーヤーの判断が迫られる。2オンが可能であるならば、イーグルも狙える戦略性のあるロングホールだ。両グリーンの左サイドのアプローチがひらけているのも覚えておきたいポイントだ。



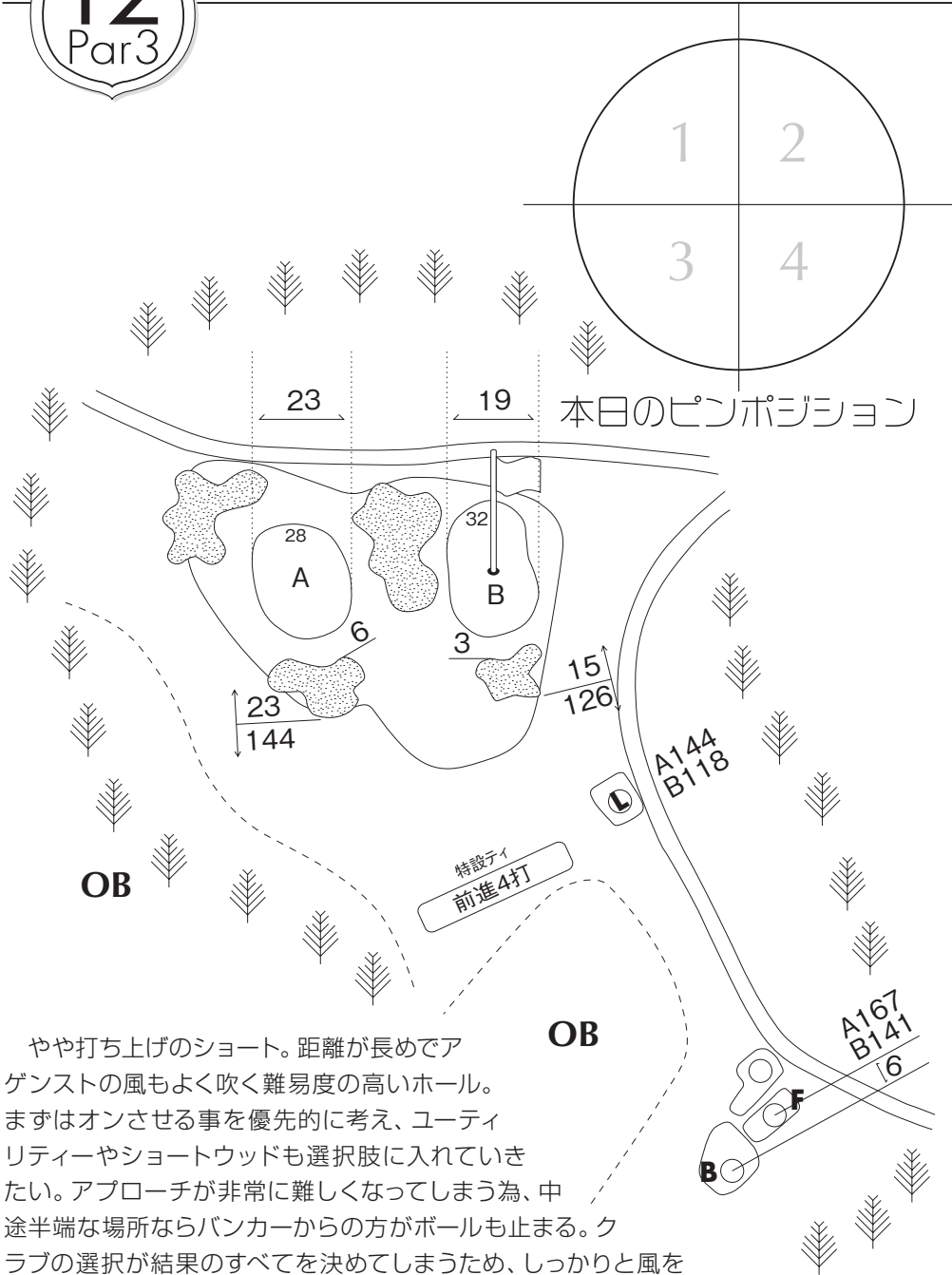
11 Hakone Course [特設ティはフェアウェー中央]



打ち下ろしのミドル。距離が短いだけに多くの罠が潜んでいる。まず、左右がOBゾーンとなっている。フェアウェイが円形に刈られており、それを外すと全てラフからのショットとなる。正面バンカーまでは209Y。キャリアで越すには227Yを必要とする。バンカーに入れずダイナミックにドライバーで攻めると250Y地点以降は下り傾斜になっており、グリーン手前まで転がるので大きくアドバンテージを得ることができる。最も危険な場所は右サイドバンカー264Y地点の三本松。グリーンが完全にスタイミーとなり、上を越すのも難しく、下はバンカーなので転がしもできない。ここへは絶対に持っていきたくないという場所だ。グリーンは傾斜が強く速い為、オンさせる場所によっては3パットの警戒もしなくてはならない。ティーショット次第で天国と地獄がわかる名物ホール。



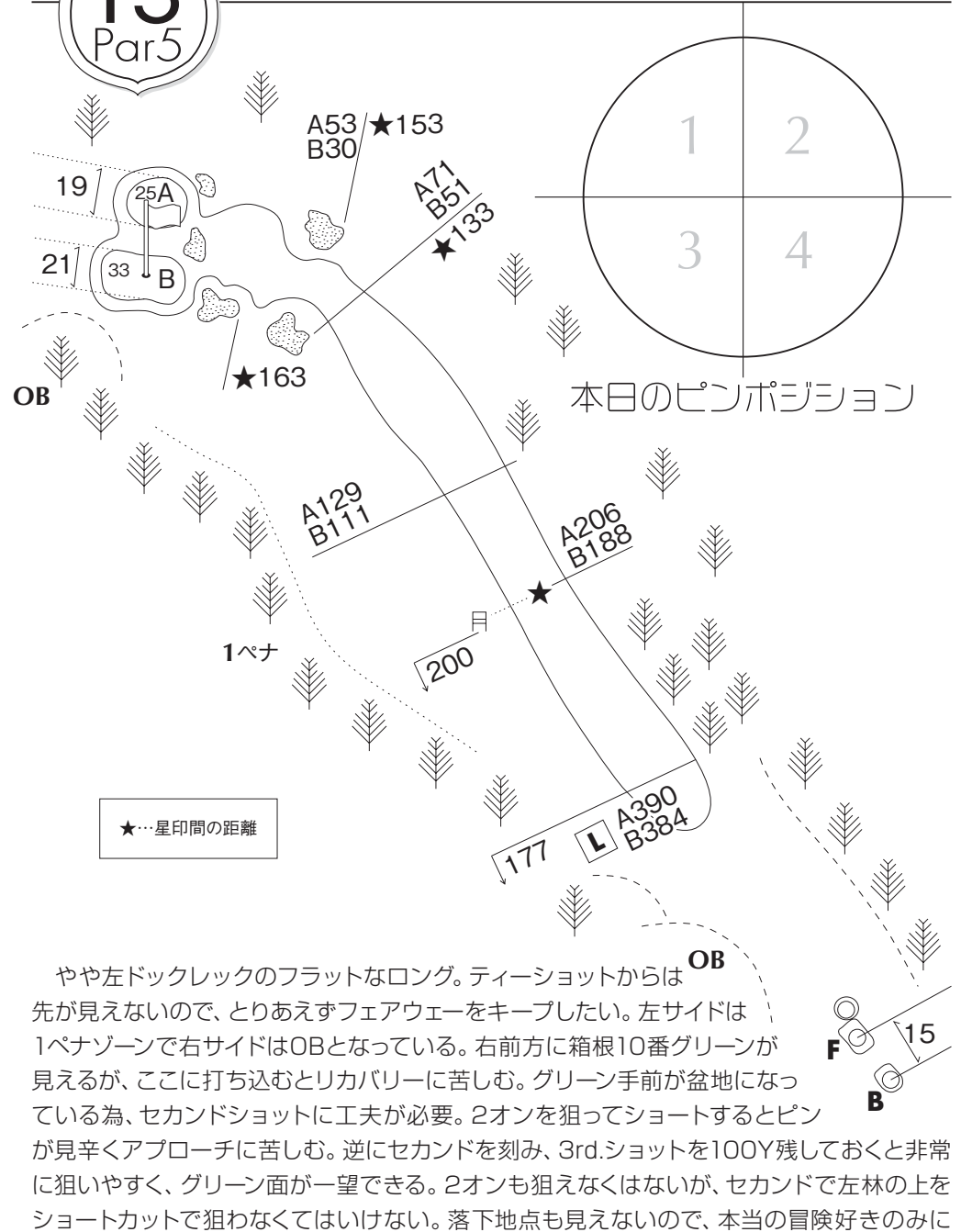
Hakone Course [特設ティ有り]



やや打ち上げのショート。距離が長めでアゲストの風もよく吹く難易度の高いホール。まずはオンさせる事を優先的に考え、ユーティリティーやショートウッドも選択肢に入れていきたい。アプローチが非常に難しくなる為、中途半端な場所ならバンカーからの方がボールも止まる。クラブの選択が結果のすべてを決めてしまうため、しっかりと風をよみ欲を出さず攻めていきたい。



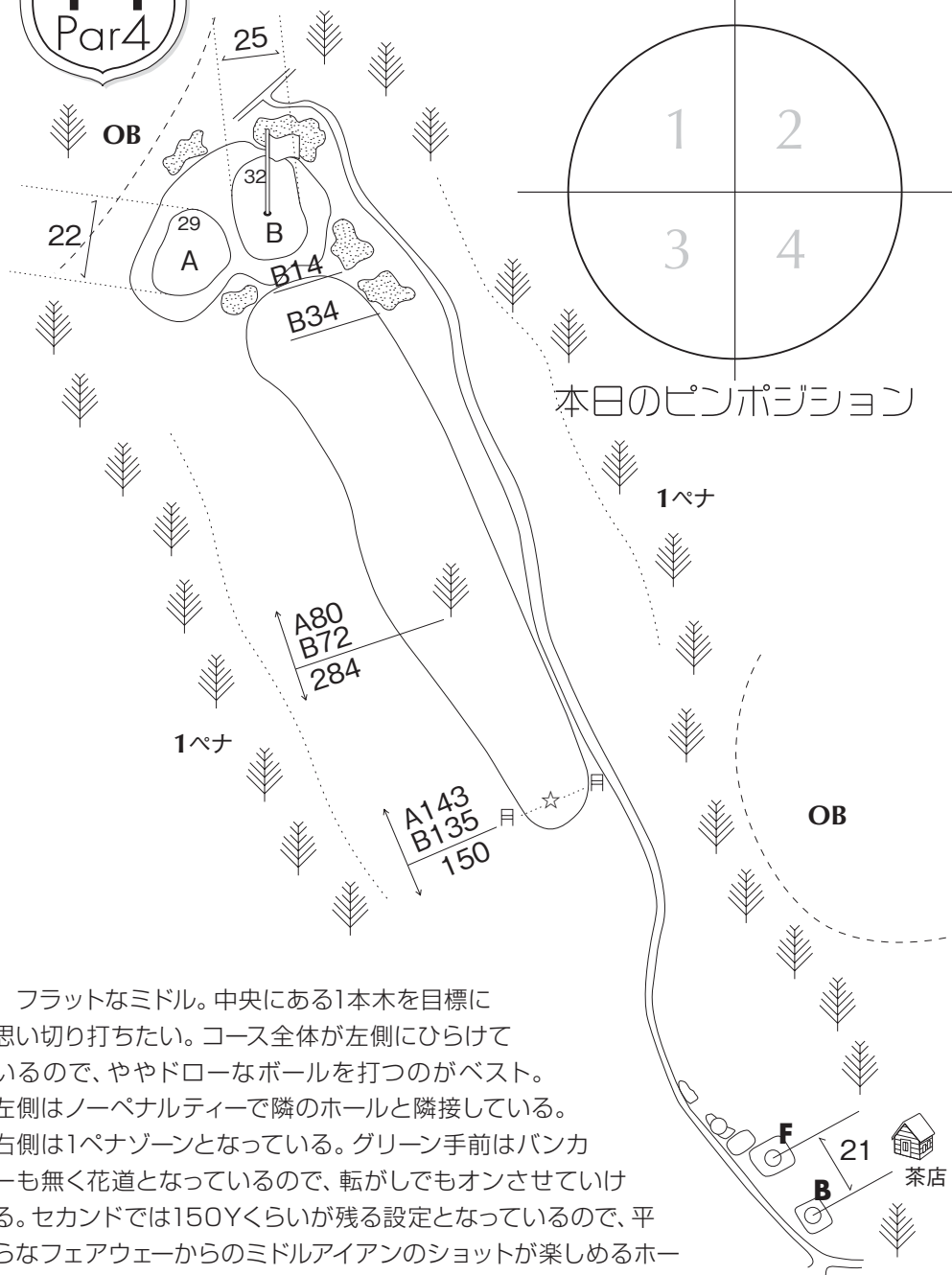
Hakone Course



やや左ドックレックのフラットなロング。ティーショットからは先が見えないので、とりあえずフェアウェーをキープしたい。左サイドは1ペナゾーンで右サイドはOBとなっている。右前方に箱根10番グリーンが見えるが、ここに打ち込むとリカバリーに苦しむ。グリーン手前が盆地になっている為、セカンドショットに工夫が必要。2オンを狙ってショートするとピンが見辛くアプローチに苦しむ。逆にセカンドを刻み、3rd.ショットを100Y残しておくとな非常に狙いやすく、グリーン面が一望できる。2オンも狙えなくはないが、セカンドで左林の上をショートカットで狙わなくてはいけない。落下地点も見えないので、本当の冒険好きのみに勧める攻めかたでもある。



14 Hakone Course [特設ティファウエー中央にあり]

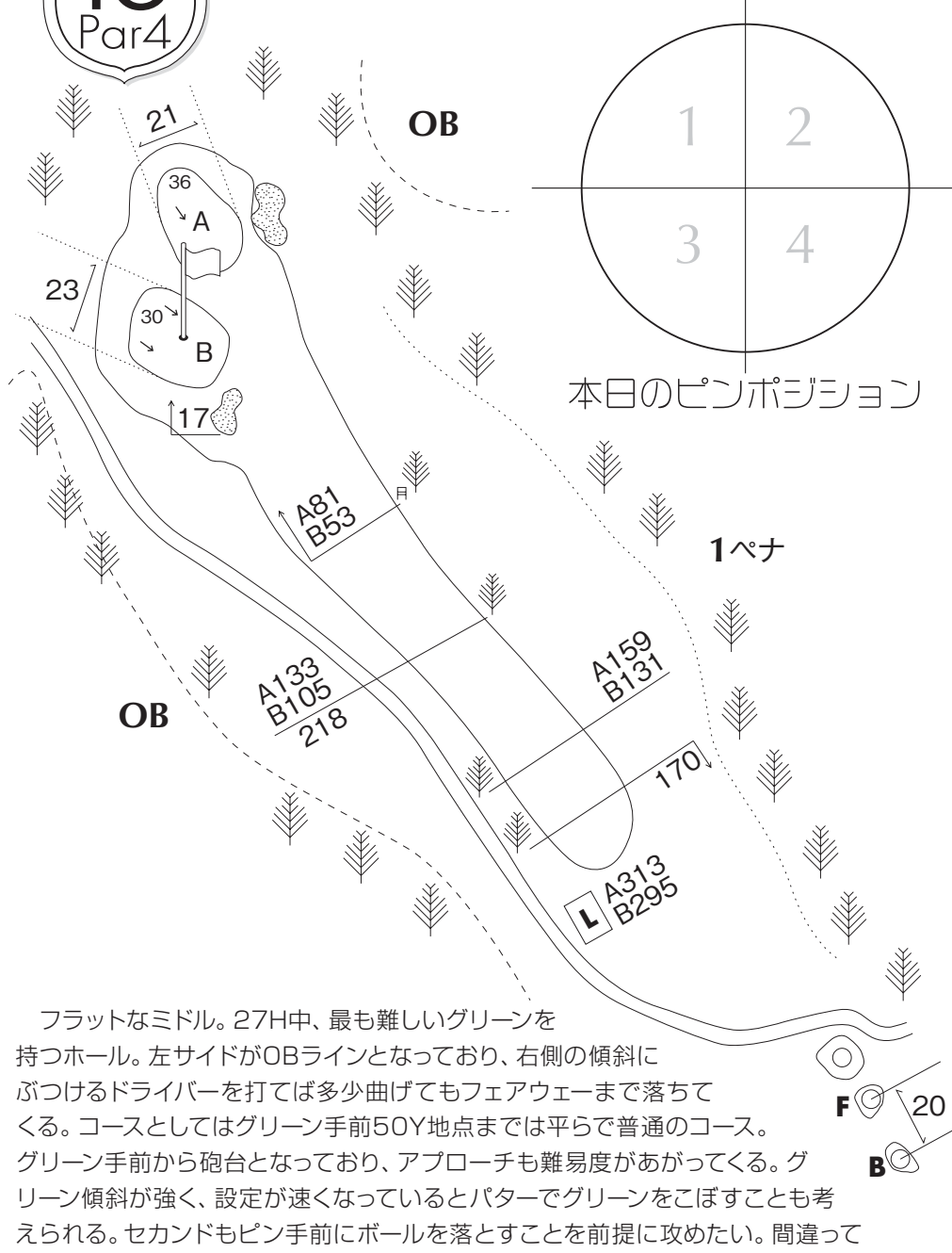


本日のピンポジション

フラットなミドル。中央にある1本木を目標に思い切り打ちたい。コース全体が左側にひらけているので、ややドローナボールを打つのがベスト。左側はノーペナルティーで隣のホールと隣接している。右側は1ペナゾーンとなっている。グリーン手前はバンカーも無く花道となっているので、転がしてもオンさせていける。セカンドでは150Yくらいが残る設定となっているので、平らなフェアウェイからのミドルアイアンのショットが楽しめるホール。サービスホールの部類に入るであろう。



15 Hakone Course

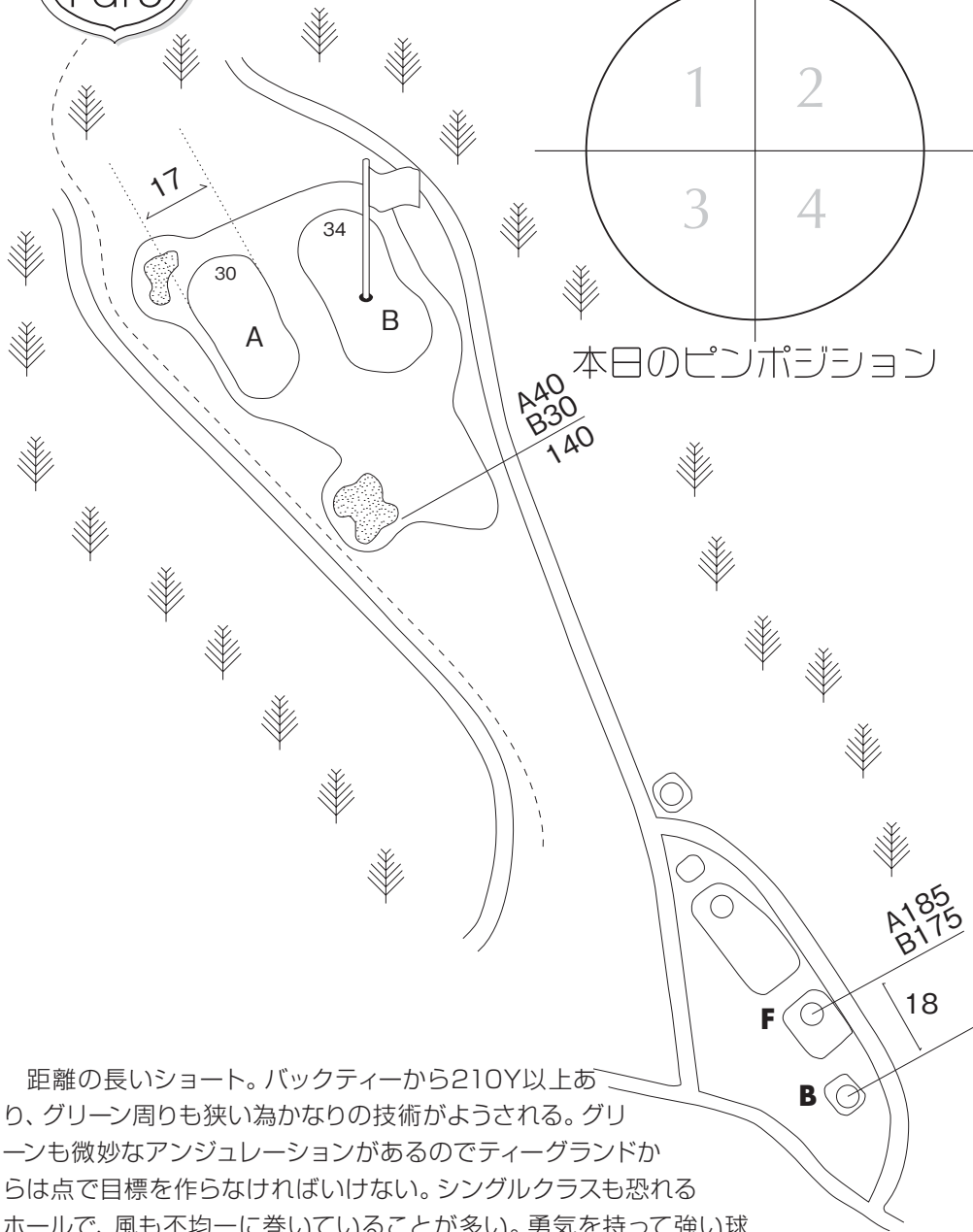


本日のピンポジション

フラットなミドル。27H中、最も難しいグリーンを持つホール。左サイドがOBラインとなっており、右側の傾斜にぶつけるドライバーを打てば多少曲げてもフェアウェイまで落ちてくる。コースとしてはグリーン手前50Y地点までは平らで普通のコース。グリーン手前から砲台となっており、アプローチも難易度があがってくる。グリーン傾斜が強く、設定が速くなっているとパターでグリーンをこぼすことも考えられる。セカンドもピン手前にボールを落とすことを前提に攻めたい。間違ってもピンハイにはつけないように。



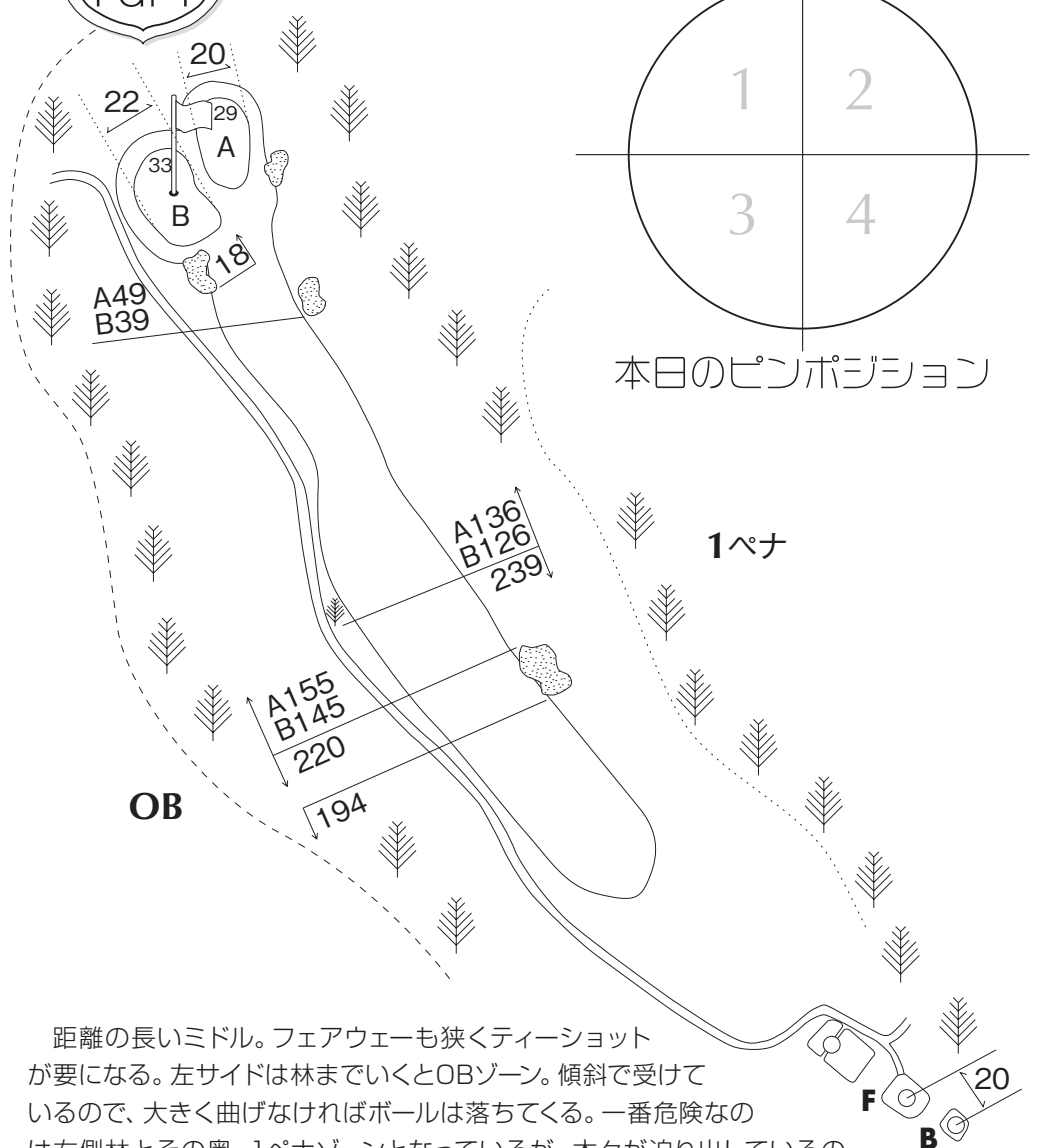
Hakone Course



距離の長いショート。バックティーから210Y以上あり、グリーン周りも狭い為かなりの技術がようされる。グリーンも微妙なアンジュレーションがあるのでティーグラウンドからは点で目標を作らなければいけない。シングルクラスも恐れるホールで、風も不均一に巻いていることが多い。勇気を持って強い球が打てるクラブを選択するのもスコアメイクにつながるだろう。



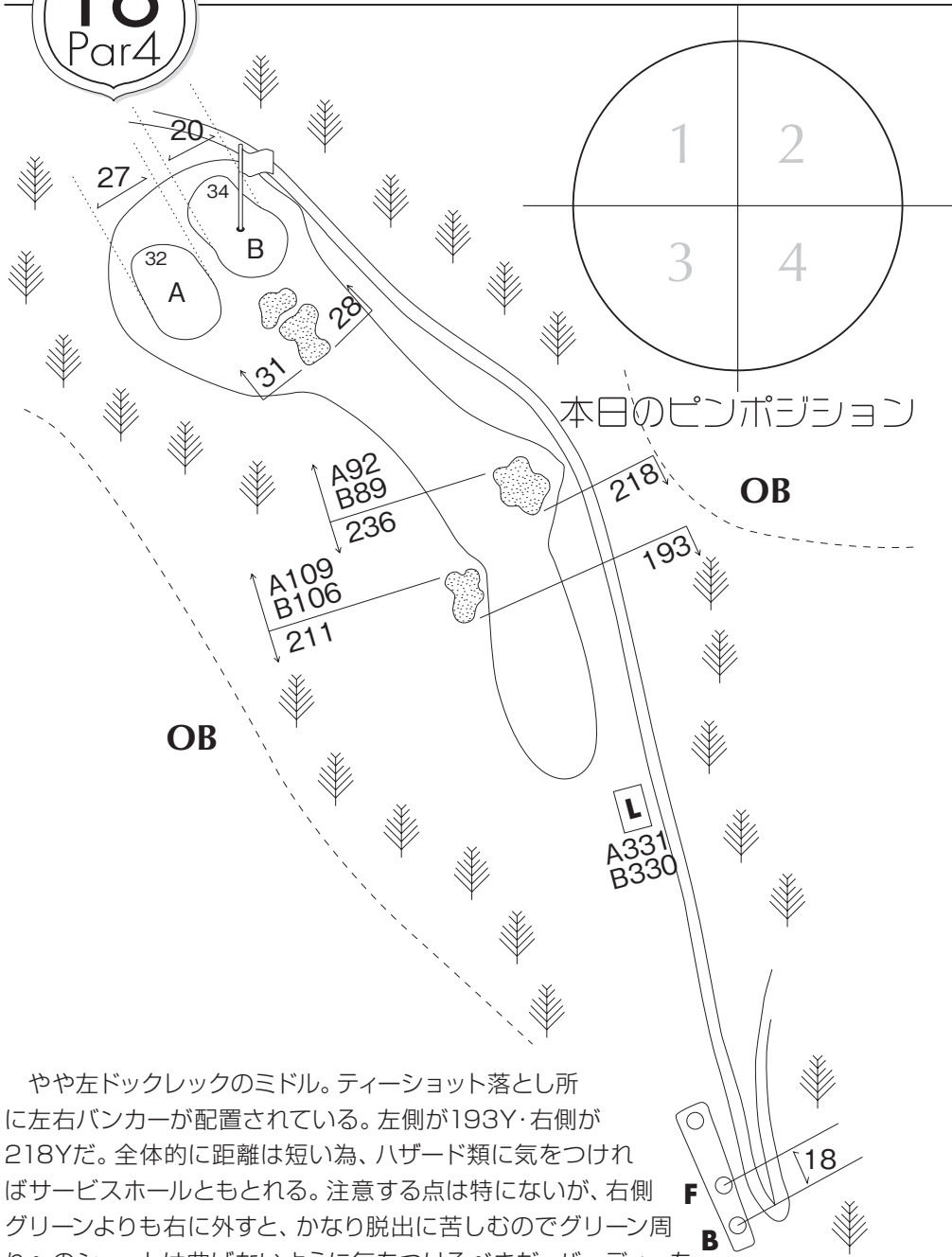
Hakone Course



距離の長いミドル。フェアウェーも狭くティーショットが要になる。左サイドは林までいくとOBゾーン。傾斜で受けているので、大きく曲げなければボールは落ちてくる。一番危険なのは右側林とその奥。1ペナゾーンとなっているが、木々が迫り出しているので手前のラフからすでに難しい。右にドックレックしている為、なお更近づきたくないエリアである。194Y地点にある右側クロスバンカーにも注意。とにかく右側がすべて危険。グリーンはやや砲台形状。セカンドは若干多めに距離を見たほうが間違いなくオンできるであろう。ミドルホールの中では最も難易度が高いホールだ。



Hakone Course



本日のピンポジション

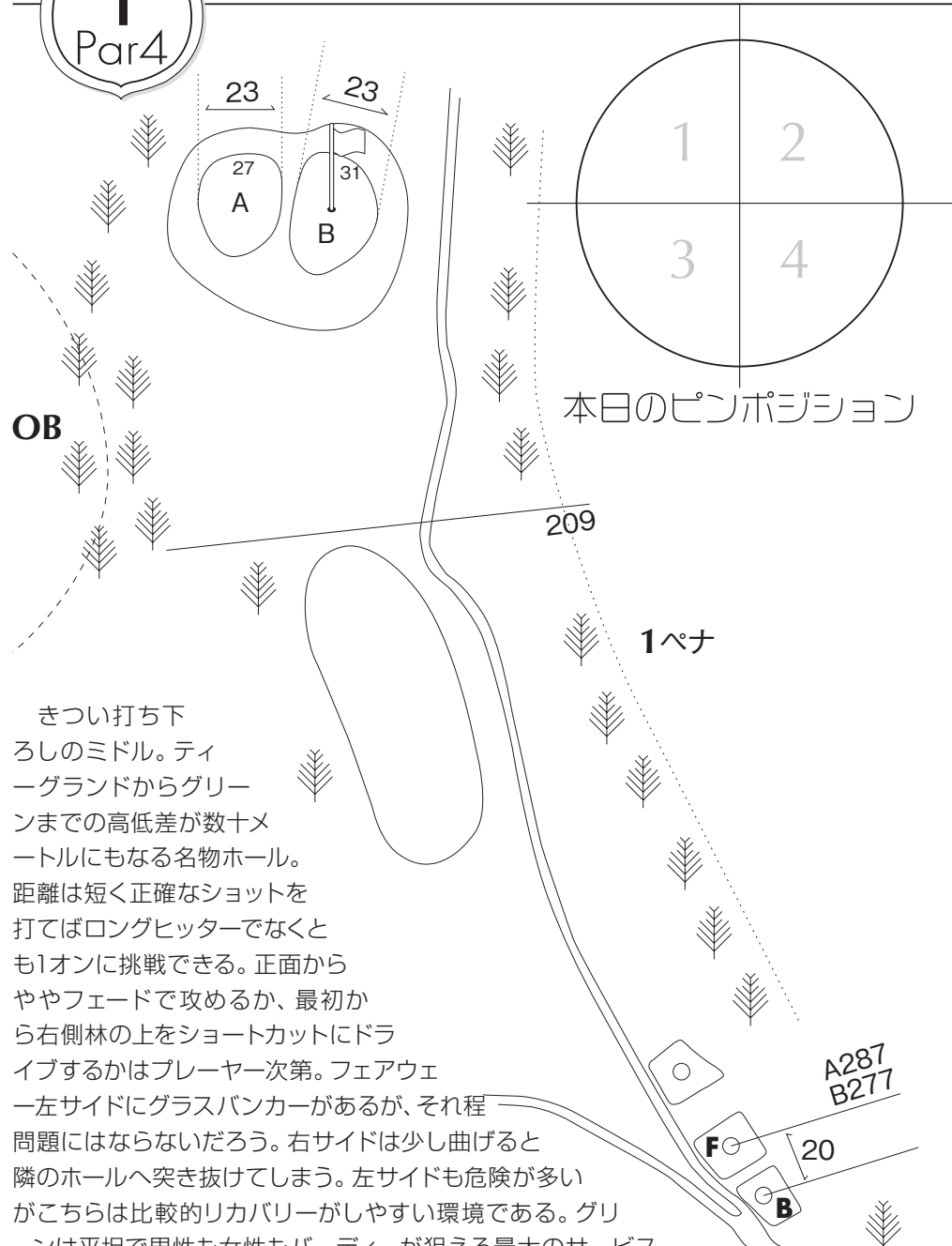
OB

OB

やや左ドックレックのミドル。ティーショット落とし所に左右バンカーが配置されている。左側が193Y・右側が218Yだ。全体的に距離は短い為、ハザード類に気をつければサービスホールともとれる。注意する点は特にないが、右側グリーンよりも右に外すと、かなり脱出に苦しむのでグリーン周りへのショットは曲げないように気をつけるべきだ。バーディーを狙うには最高のラストホール。



Amagi Course



本日のピンポジション

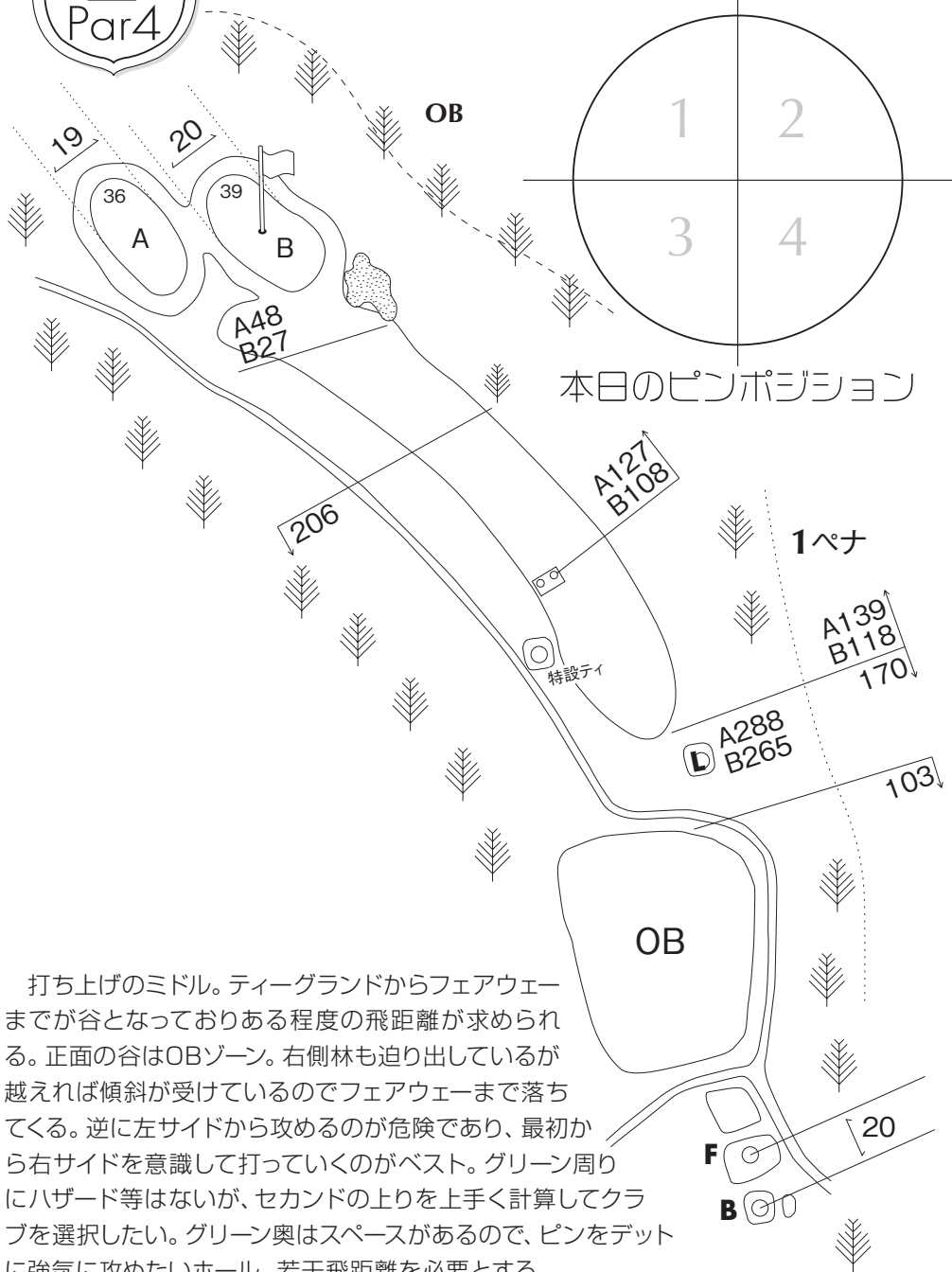
OB

1ペナ

きつい打ち下ろしのミドル。ティーランドからグリーンまでの高低差が数十メートルにもなる名物ホール。距離は短く正確なショットを打てばロングヒッターでなくとも1オンに挑戦できる。正面からややフェードで攻めるか、最初から右側林の上をショートカットにドライブするかはプレーヤー次第。フェアウェー左サイドにグラスバンカーがあるが、それ程度問題にはならないだろう。右サイドは少し曲げると隣のホールへ突き抜けてしまう。左サイドも危険が多いがこちらは比較的リカバリーしやすい環境である。グリーンは平坦で男性も女性もバーディーを狙える最大のサービスホール。



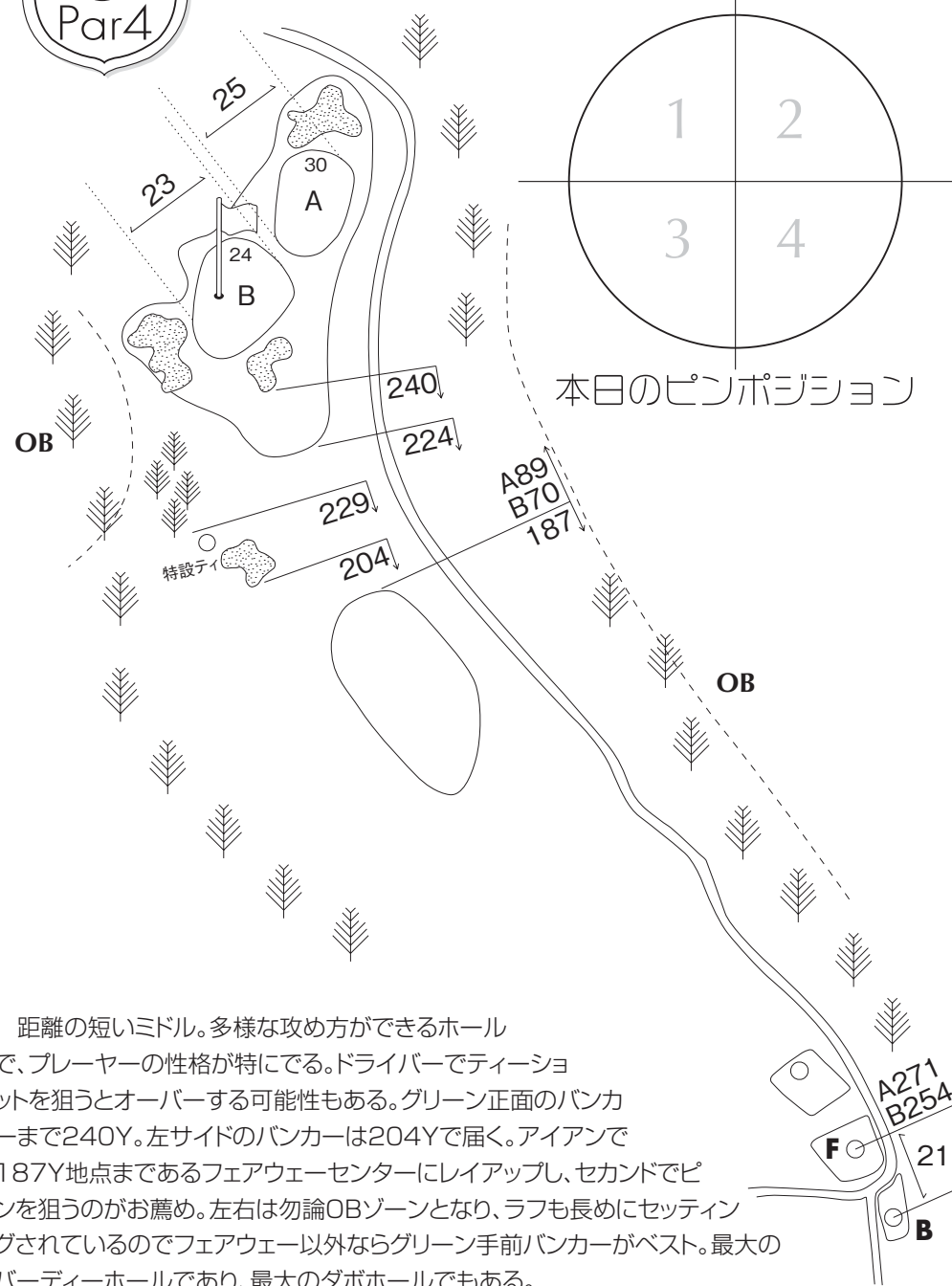
Amagi Course [特設ティ有り]



打ち上げのミドル。ティーランドからフェアウェーまでが谷となっておりある程度の飛距離が求められる。正面の谷はOBゾーン。右側林も迫り出しているが越えれば傾斜が受けているのでフェアウェーまで落ちてくる。逆に左サイドから攻めるのが危険であり、最初から右サイドを意識して打っていくのがベスト。グリーン周りにはハザード等はないが、セカンドの上りを上手く計算してクラブを選択したい。グリーン奥はスペースがあるので、ピンをデットに強気に攻めたいホール。若干飛距離を必要とする。



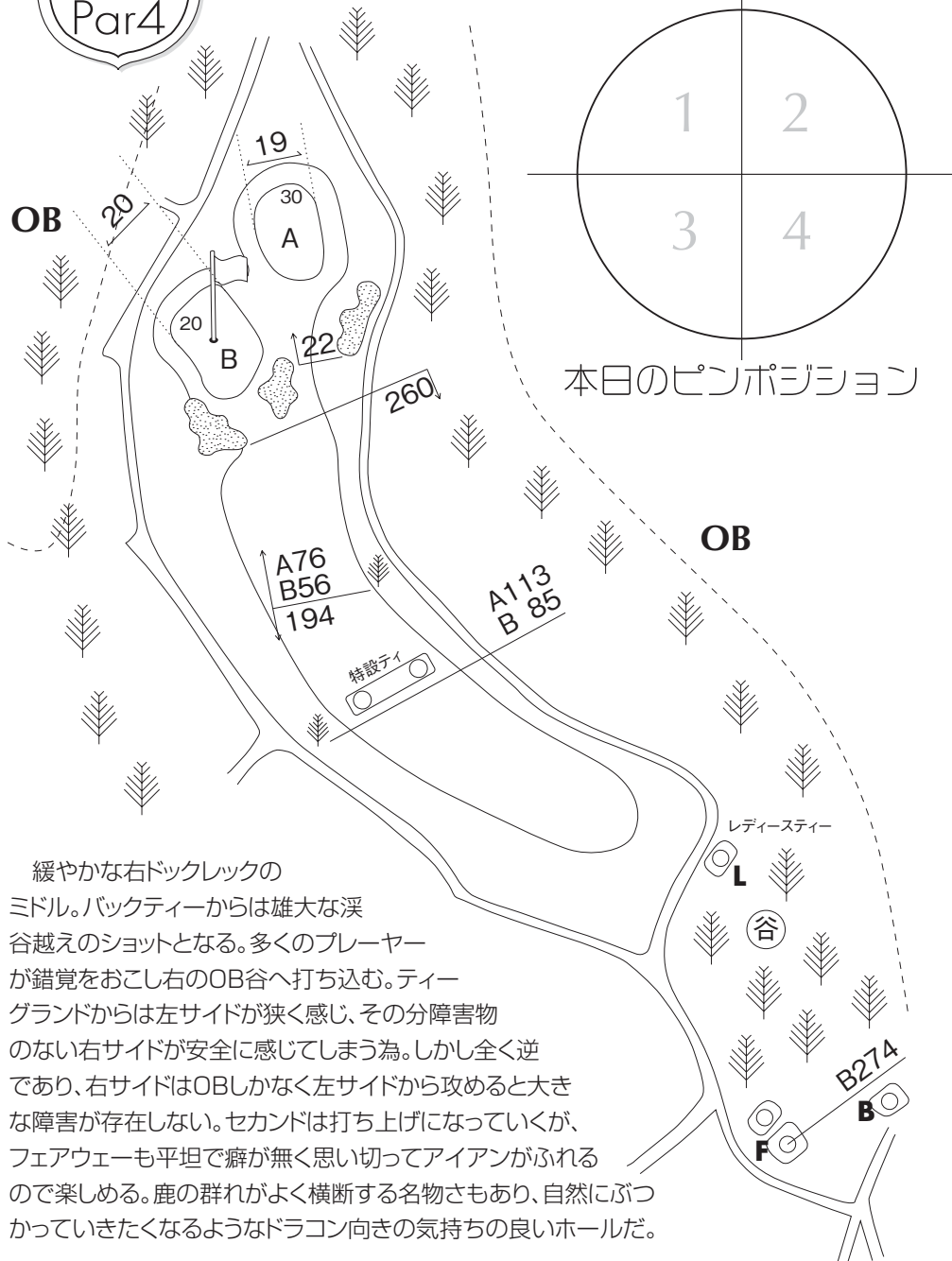
Amagi Course [特設ティ有り]



距離の短いミドル。多様な攻め方ができるホールで、プレイヤーの性格が特にでる。ドライバーでティーショットを狙うとオーバーする可能性もある。グリーン正面のバンカーまで240Y。左サイドのバンカーは204Yで届く。アイアンで187Y地点まであるフェアウェーセンターにレイアップし、セカンドでピンを狙うのがお薦め。左右は勿論OBゾーンとなり、ラフも長めにセッティングされているのでフェアウェー以外ならグリーン手前バンカーがベスト。最大のバーディーホールであり、最大のダボホールでもある。



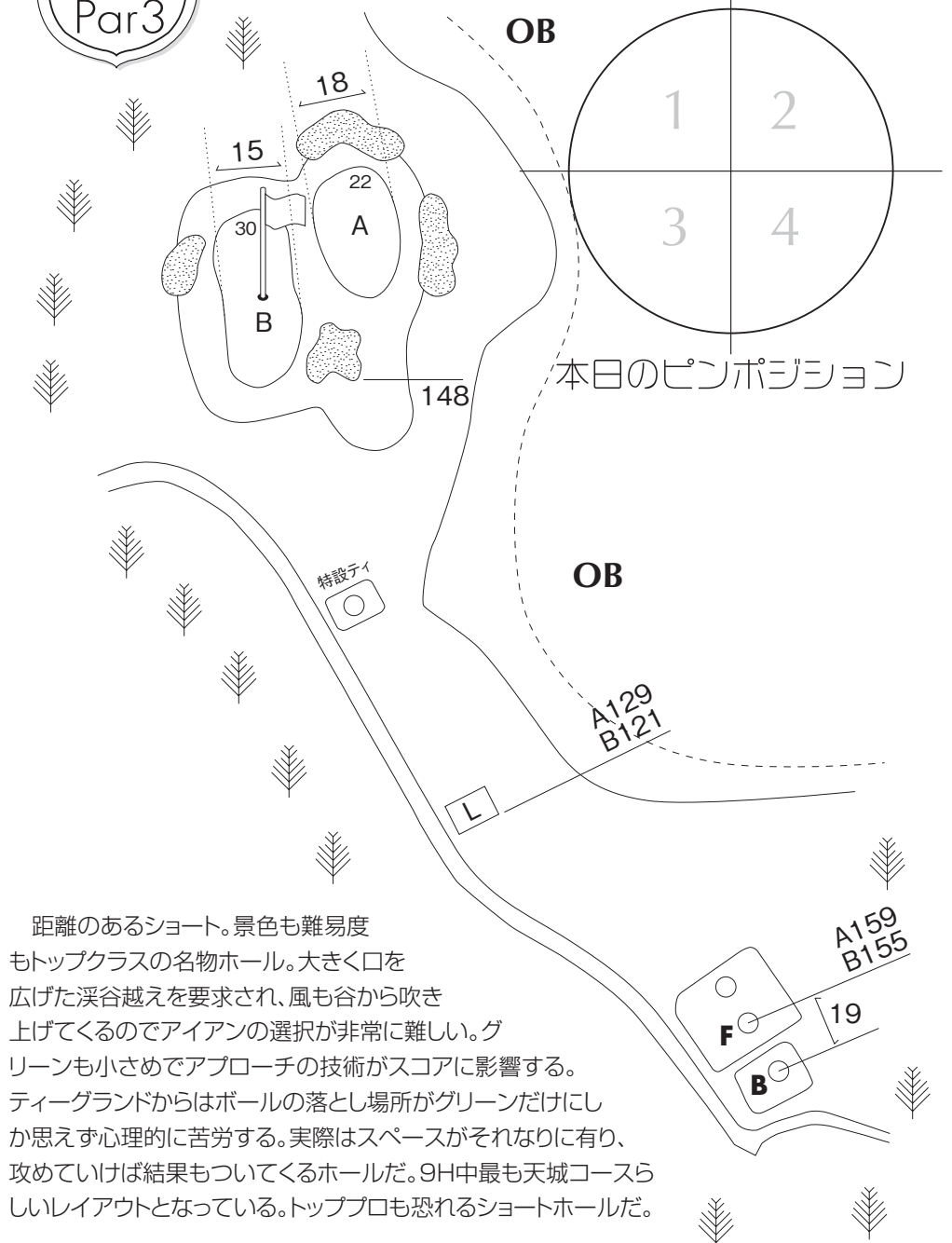
Amagi Course [特設ティはフェアウェイ中央]



緩やかな右ドックレックのミドル。バックティーからは雄大な渓谷越えのショットとなる。多くのプレイヤーが錯覚をおこし右のOB谷へ打ち込む。ティーグラウンドからは左サイドが狭く感じ、その分障害物のない右サイドが安全に感じてしまう為。しかし全く逆であり、右サイドはOBしなく左サイドから攻めると大きな障害が存在しない。セカンドは打ち上げになっていくが、フェアウェイも平坦で癖が無く思い切ってアイアンがふれるので楽しめる。鹿の群れがよく横断する名物もあり、自然にぶつかっていきたくくなるようなドラゴン向きの気持ちの良いホールだ。



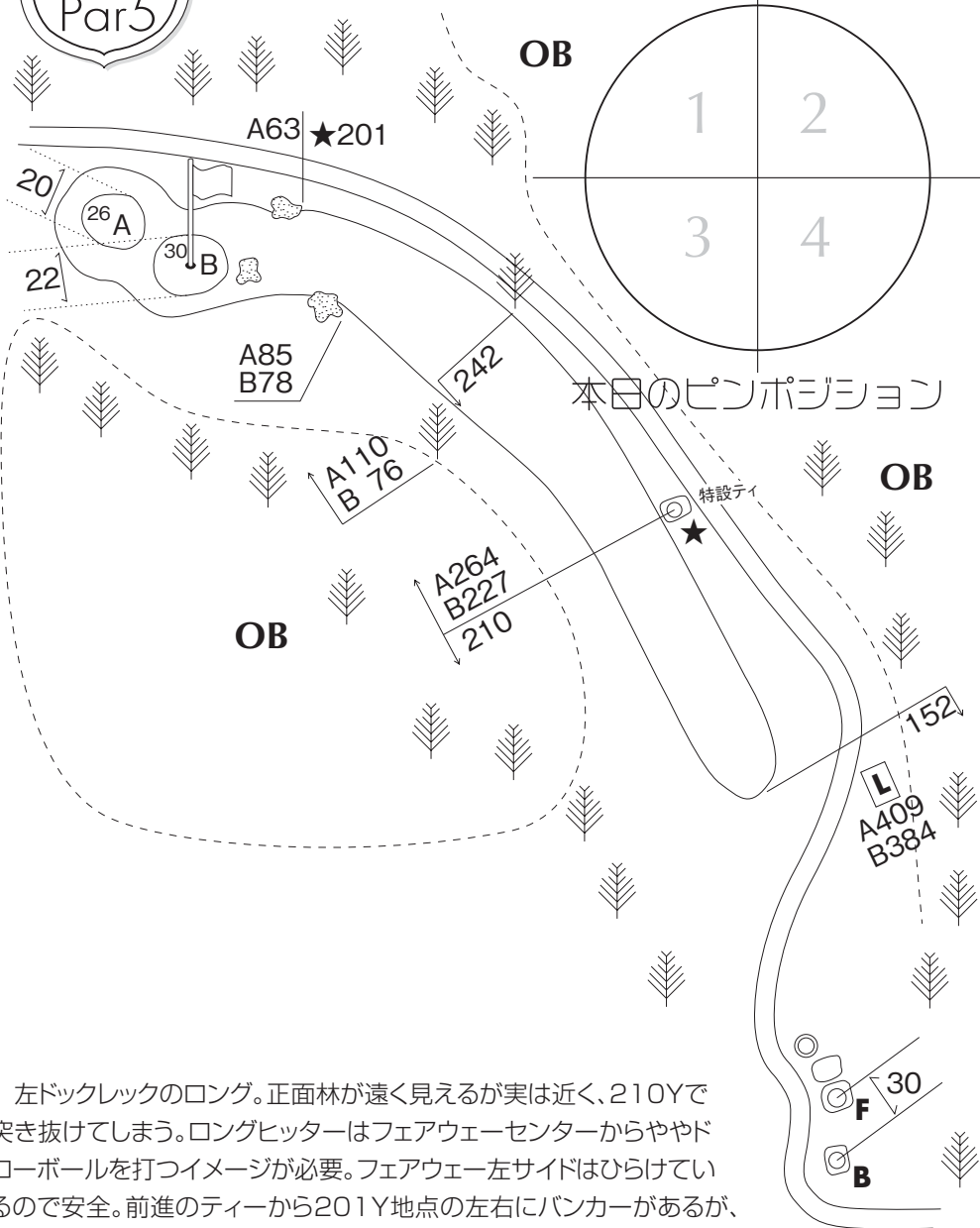
Amagi Course [特設ティ有り]



距離のあるショート。景色も難易度もトップクラスの名物ホール。大きく口を広げた渓谷越えを要求され、風も谷から吹き上げてくるのでアイアンの選択が非常に難しい。グリーンも小さめでアプローチの技術がスコアに影響する。ティーグラウンドからはボールの落とし場所がグリーンだけにしか思えず心理的に苦勞する。実際はスペースがそれなりに有り、攻めていけば結果もついてくるホールだ。9H中最も天城コースらしいレイアウトとなっている。トッププロも恐れるショートホールだ。



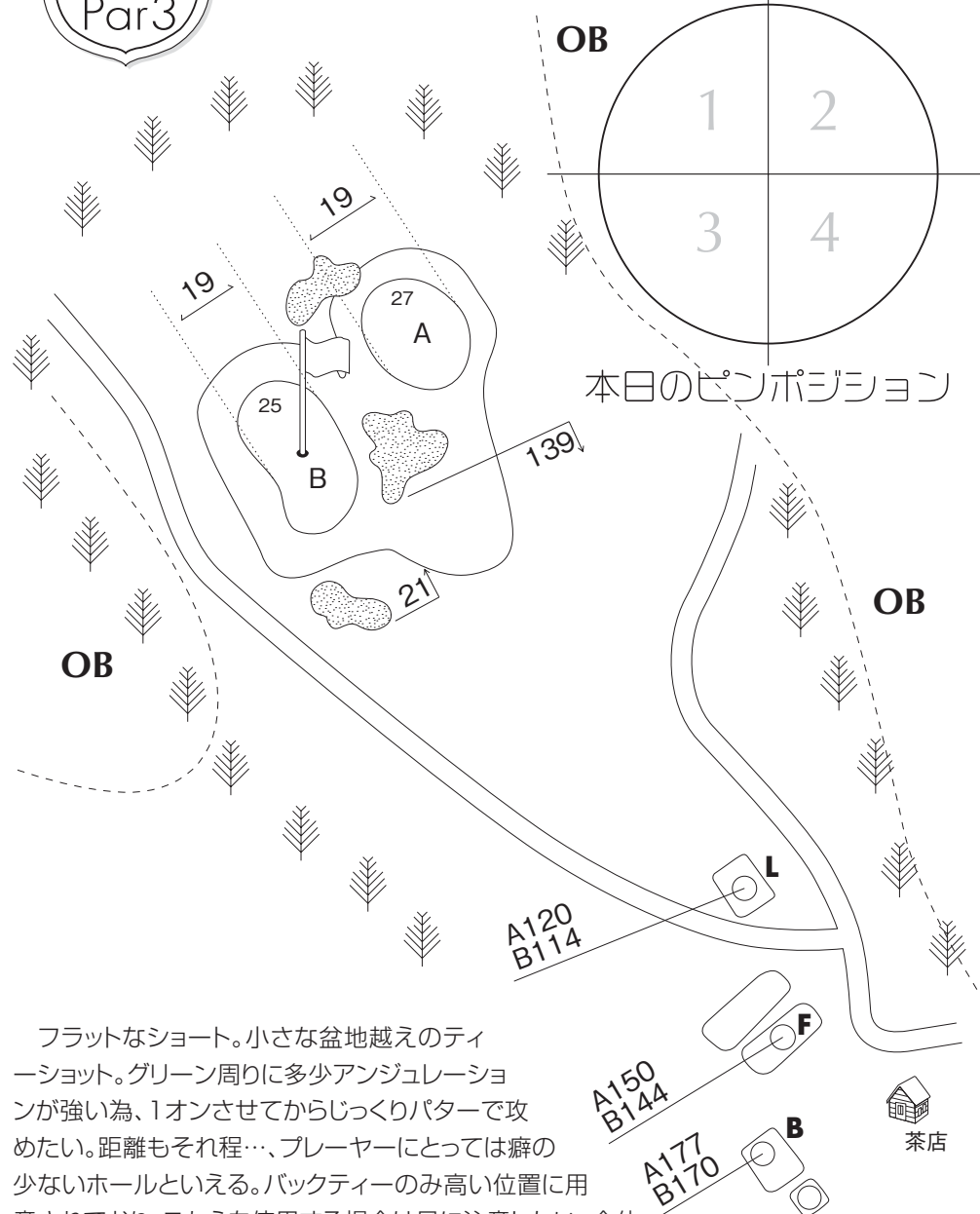
6 Amagi Course [特設ティ有り]



左ドックレックのロング。正面林が遠く見えるが実は近く、210Yで突き抜けてしまう。ロングヒッターはフェアウェーセンターからややドロボールを打つイメージが必要。フェアウェー左サイドはひらけているので安全。前進のティーから201Y地点の左右にバンカーがあるが、フェアウェーがひろめなので果敢に攻めたい。2面あるグリーンが縦に配置されているので、使用しているグリーンをしっかりと確認して距離をあわせたい。グリーン面積も広いので、比較的穏やかなロングホールといえるだろう。



7 Amagi Course

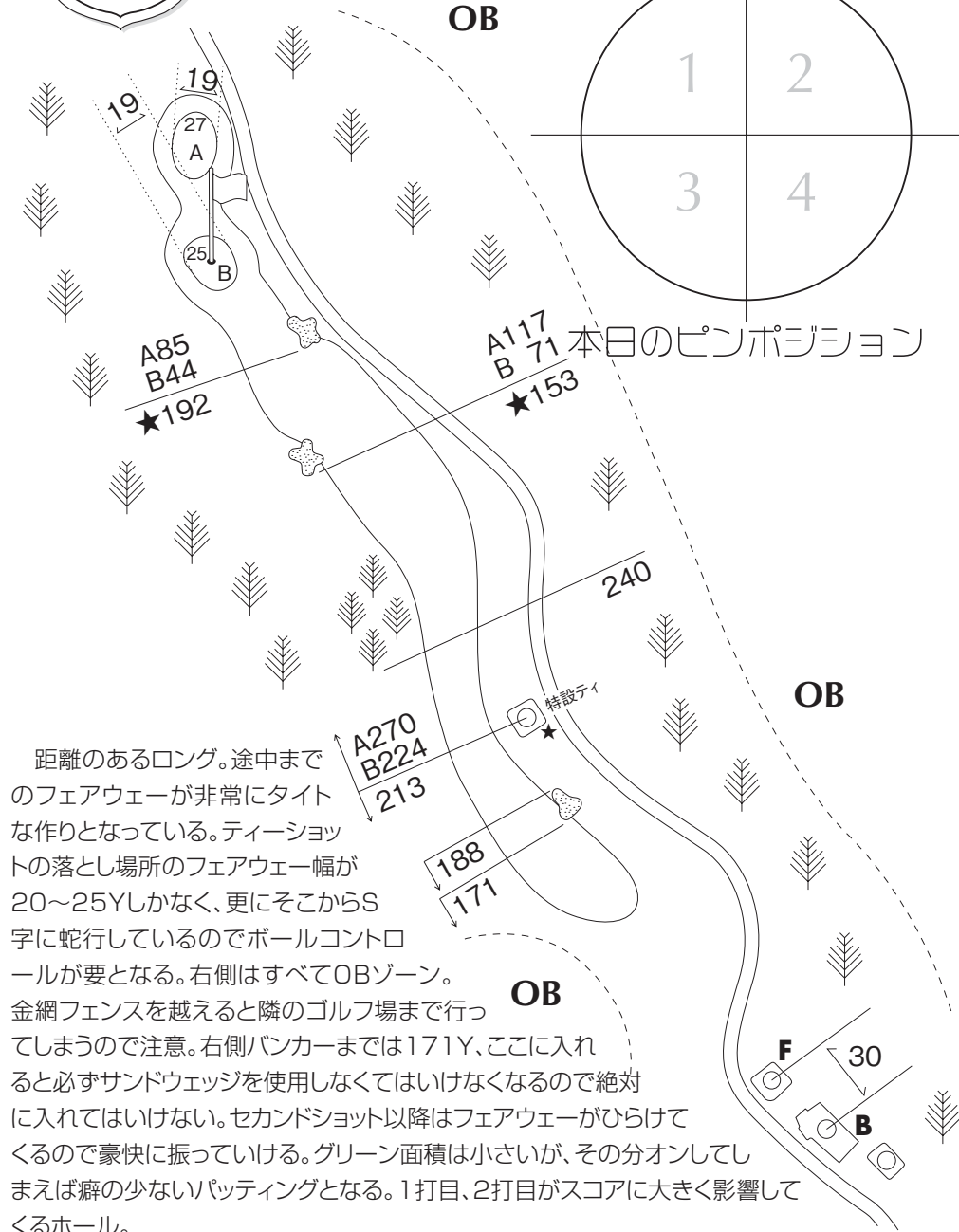


フラットなショート。小さな盆地越えのティーショット。グリーン周りに多少アンジュレーションが強い為、1オンさせてからじっくりパターで攻めたい。距離もそれ程…、プレーヤーにとっては癖の少ないホールといえる。バックティーのみ高い位置に用意されており、こちらを使用する場合は風に注意したい。全体的に風が巻いている事が多く、グリーン周りが狭いだけにしっかりとオンさせるのがポイントとなってくる。





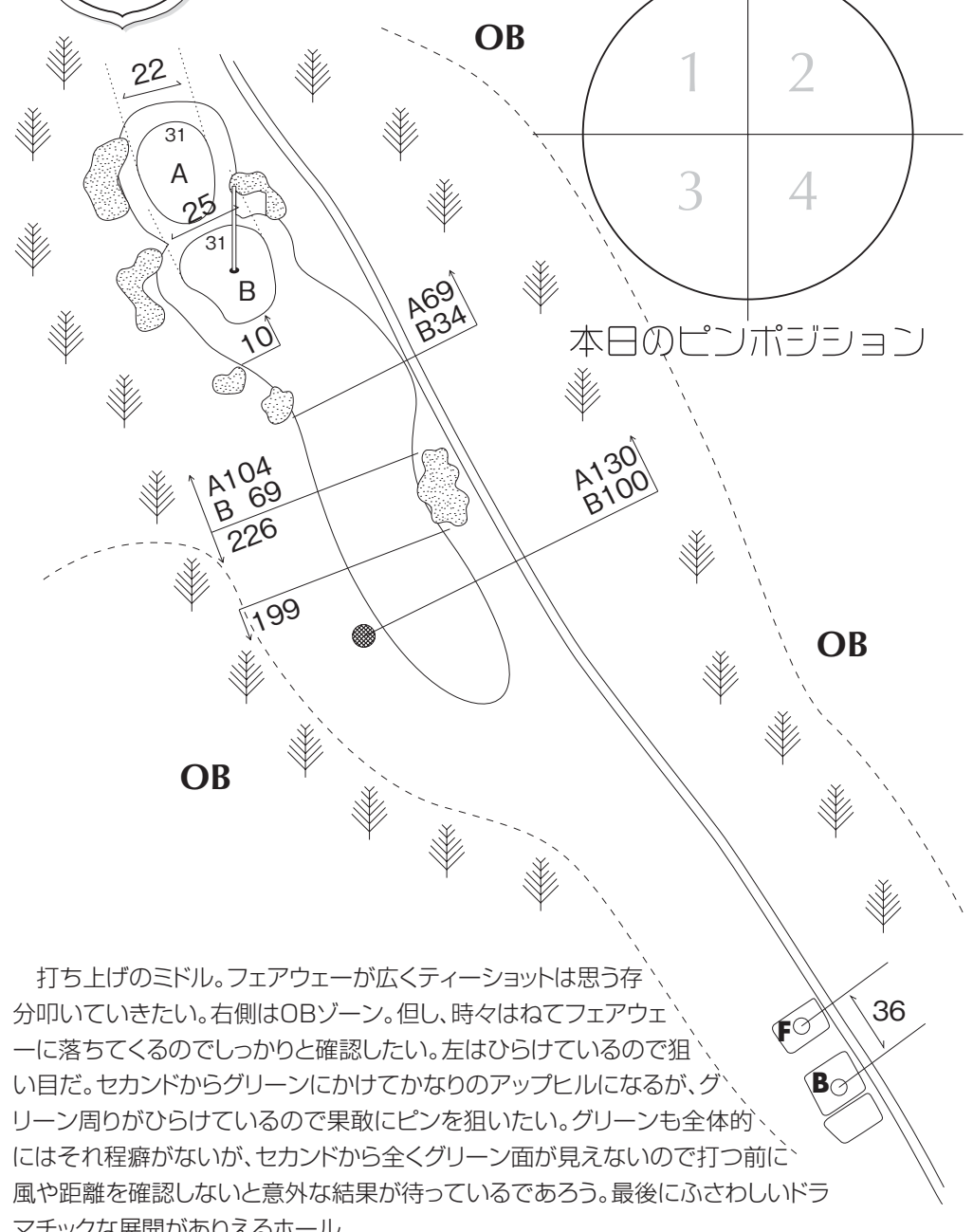
Amagi Course [特設ティ有り]



距離のあるロング。途中までのフェアウェーが非常にタイトな作りとなっている。ティーショットの落とし場所のフェアウェー幅が20~25Yしかなく、更にそこからS字に蛇行しているのでボールコントロールが要となる。右側はすべてOBゾーン。金網フェンスを越えると隣のゴルフ場まで行ってしまいますので注意。右側バンカーまでは171Y、ここに入ると必ずサンドウェッジを使用しなくてはいけなくなるので絶対に入れてはいけません。セカンドショット以降はフェアウェーがひらけてくるので豪快に振っていきける。グリーン面積は小さいが、その分オンしてしまえば癖の少ないパッティングとなる。1打目、2打目がスコアに大きく影響してくるホール。



Amagi Course



打ち上げのミドル。フェアウェーが広くティーショットは思う存分叩いていきたい。右側はOBゾーン。但し、時々はねてフェアウェーに落ちてくるのでしっかりと確認したい。左はひらけているので狙い目だ。セカンドからグリーンにかけてかなりのアップヒルになるが、グリーン周りがひらけているので果敢にピンを狙いたい。グリーンも全体的にはそれ程癖がないが、セカンドから全くグリーン面が見えないので打つ前には風や距離を確認しないと意外な結果が待っているであろう。最後にふさわしいドラマチックな展開がありえるホール。